



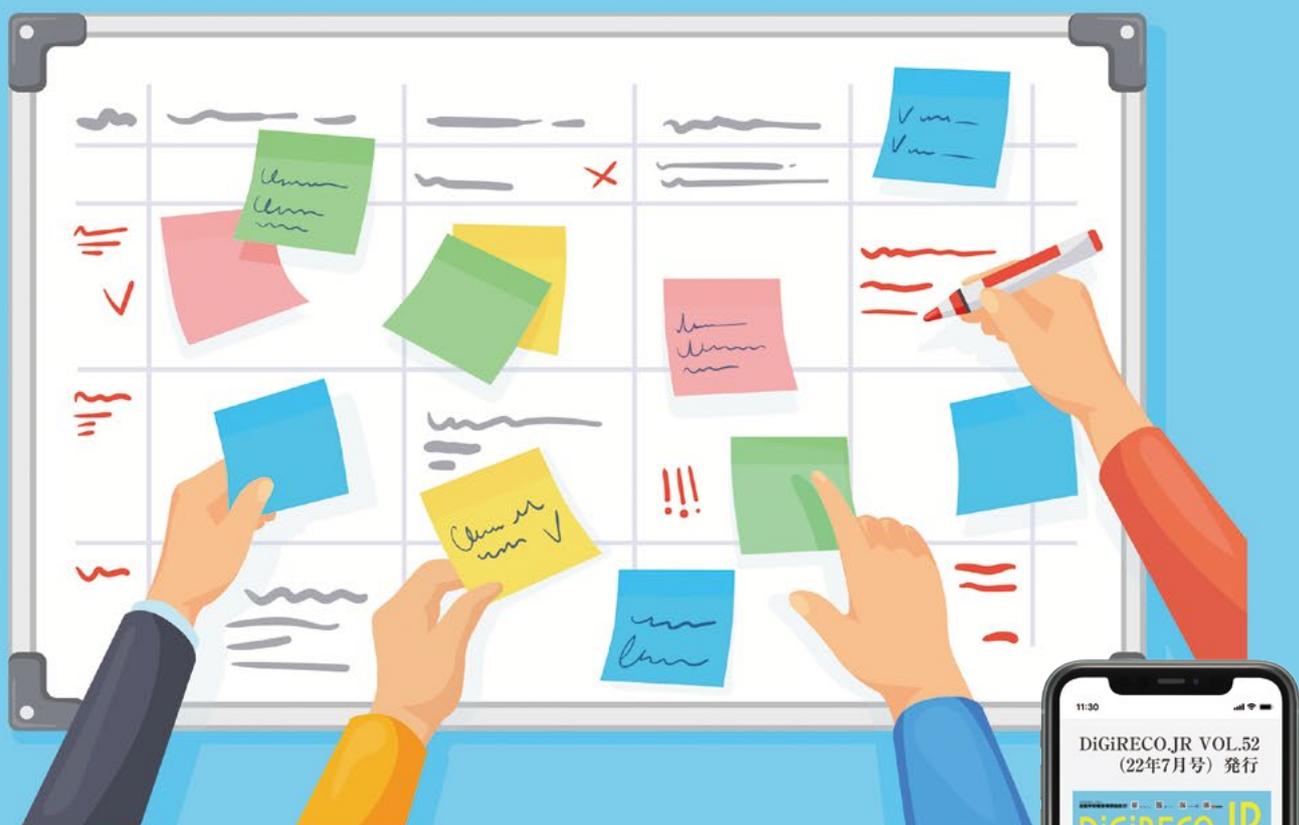
DiGiRECO.JR

デジレコ・ジュニア 2022年7月号 VOL.52

全国の高等学校軽音楽部に無料配布！

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。
写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。

2,036校



準備万端整えよう！

ライブ「本番」までに やっておくべきこと！



ロックの解体新書

RADWIMPS / 前前世
back number / 花束
Mrs. GREEN APPLE / パブリック
夜の本気ダンス / By My Side
SHE'S / パレードが終わる頃

軽音楽コンテストを観に行こう！

第4回 高等学校軽音楽コンテスト近畿北陸大会
第6回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会
第1回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会
第11回 愛知県高等学校軽音楽大会

参加校
募集

軽音楽がセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

練習の成果を発表し、他校からも学べる練習試合

軽音協イベント・カレンダー

特定非営利活動法人 (NPO 法人)

全国学校軽音楽部協会

TEL : 045-913-0901 info@keionkyo.org



KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学ぶセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる



7/17 (日)

静岡県

浜松学芸中学校・高等学校

8/1 (月)

富山県

富山県立富山工業高等学校

8/21 (日)

兵庫県

兵庫県立武庫荘総合高等学校 (仮)

参加無料

複数の高校を集めた技術講習会です
パートごとに初級・応用の講義を実施
生徒はプロの講師から直接教わります
参加校・顧問間の交流を促進します

KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

練習の成果を発表し、他校からも学べる練習試合



7/10 (日)

京都府

舞鶴赤れんがパーク 2 号棟

7/16 (土)

神奈川県

昭和音楽大学

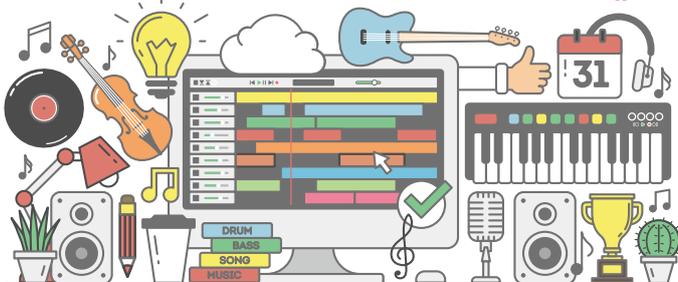
参加無料

複数の高校を集めた合同演奏会です
演奏後、講師から講評が受けられます
他校の演奏を見聞きし、参考にします
参加校・顧問間の交流を促進します

KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音学ぶセミナー

作曲/アレンジ/DTM/レコーディングが学べる **FOR** **ジュニア**



8/26 (金)

東京都

宝塚大学 東京メディア芸術学部
10:00 ~ 16:00

参加無料

初めての **オリジナル楽曲制作/アレンジ講座**
iPhone/iPad で始める **GarageBand 入門講座**
パソコンを使った **初歩の DTM (Desk Top Music) 講座**
バンドの演奏が録音できる **レコーディング初級講座**



DiGiRECO BAND CLINIC

あなたの学校の軽音楽部に
軽音協が出向きます!

無料

※実施要項を用意しておりますので、右の QR コードからアクセスしてください。
※開催の相談は顧問の先生を通して行ってください。



高等学校の軽音楽部をよく知る講師がアンサンブルのアドバイスをしたり、音響や電気の初歩的な知識やサウンドチェックの仕方など、実施校の要望に応じて開催します。

編集長の言葉 ...4

配布校リスト ...6

お知らせ

軽音協イベント・カレンダー ...2

第1回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会開催 ...5

軽音楽コンテストを観に行こう！ ...27

軽音協のコンテンツ ...39

REPORT

軽音学ぶセミナー：京都府／大谷高等学校 ...10

軽音学ぶセミナー：滋賀県／滋賀県立草津東高等学校 ...12

軽音合同演奏会：東京都／専門学校東京ビジュアルアーツ ...14

軽音学ぶフェス／軽音合同演奏会 Photo Gallery ...15

特集

準備万端整えよう！

ライブ「本番」までに
やっておくべきこと！ ...16

CONTENTS

ロックの解体新書 ...24

RADWIMPS／前前世

back number／花束

Mrs. GREEN APPLE／パブリック

夜の本気ダンス／By My Side

SHE'S／パレードが終わる頃

音楽／エンタメ業界の仕事 2022 ...28

MUSICQuiz ～軽音ミュージッククイズ～③ ...37

知っておくべき 軽音楽部の常識10

～ドラムのウォーミングアップ編～ ...38

全国学校軽音楽部協会は
「音楽やバンド活動を通して、
これからの人材を育てる」
の理念のもと高等学校軽音楽部の
活動を応援しています。

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴った活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。

私たちは、支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会



keionkyo.org

寄付をお願いします

皆さまのご支援をお待ちしております



From Chief-In-Editor

「練習方法」を考える

今年度に入ってから、軽音楽部の活動が日常を取り戻しつつあり、当協会でも各地でセミナーや合同演奏会の開催を活発に行っています。そんな中で感じたものの1つに「練習方法」の提案があります。「練習」と一言で言っても、実は「個人の練習」や「バンドの練習」もあり、それ以外にも「ライブに向けた練習」もあります。それぞれの目的にマッチした練習の方法や内容がありますので、それらを意識することで効率的、効果的に楽器の演奏スキルが上達したり、バンドとしてのまとまりが良くなり、ライブでの表現力を高めることができると思います。「個人練習」が十分にできていない状態で「バンド練習」をしても効率は悪く、「バンド練習」が十分にできていない状態で「ライブ練習」をしてもまとまりません。もちろん、音を出すだけでも楽しいと思いますが、部活動の目的は楽しむことではありません。運動部…例えば、野球部を例にしましょう。キャッチボールをしたり、バッティングをしたり、フライを捕ったり、ゴロを拾ったり、ノックをしたりという「個人練習（基礎練習）」でスキルアップをしないで、いくら試合をしても、チームとしてはなかなか上達しません。基礎体力をつけるためのランニング、グラウンドの整備、ピッチャーの投球練習やバッターの打球練習などなど

…そう考えると、普段の野球部は「個人やパートの練習しかしていない」とも言い換えられます。軽音楽部にとっての「バンド練習」や「ライブ練習」は野球部の「練習試合」と言えます。軽音楽部では「練習試合」を繰り返す日常になっていないでしょうか。「個人練習」や「パート練習」は野球部で言う基礎体力の強化に相当すると置き換えると、軽音楽部でも部員全員でスケール練習、リズム練習や発声練習を試してみる価値はあると思います。

また、野球部では次の試合に出るメンバー以外は練習しない…なんてことはありません。そういう意味では、「今日はバンドで音出しができないから帰宅する」という発想は野球部にはないでしょう。何もかもを文化部と運動部で同期させようとは言いませんが、同じ「部活動」という視点で軽音楽部を見直してみると、日々の練習方法や内容にも工夫できる部分があるのではないかと思います。バンド単位での勝ち負けとは関係なく、部活動として上を目指すのであれば、運動部から学ぶことは少なくありません。他山の石として、周囲の部活動を見渡してみることも必要かもしれません。

では、また次号で…。



編集長 三谷佳之

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 理事長
日本部活動学会 (JESECA) 理事
株式会社ミュージックネットワーク 代表取締役
mitani@keionkyo.org
Twitter @yoshiyukimitani



全国学校軽音楽部協会



DIGIRECO.JR VOL.52 電子版



YouTubeチャンネル

三谷佳之 YOSHIYUKI MITANI

小学生で電気に興味を持つ。中学生でフリッツ・ロックに目覚め、将来はイギリスに住む！と妄想。英語が必須と実感。エレキ・ギターを弾きつつ、ジブセワイザーに興味を持ち、楽器よりも電気に傾倒。国立奈良工業高等専門学校/電気工学科に進学。ロックバンドを組むが、長続きせず。在学中に興味の対象が広告宣伝や販売促進、マーケティングに移る。果電子楽器メーカーに就職後、最新テクノロジーだった通信事業に興味を持ち、9年間の勤務を経て、独立。株式会社ミュージックネットワークを設立。インターネットのない時代から音楽と通信ネットワークの分野で数々の日本初のビジネスを立ち上げる。

2000年の少し前、インターネット業界では当たり前の「コンテンツは無料」というコンセプトを雑誌に応用した「無料雑誌」を思いつき、創刊。2013年、高校の軽音楽部向けの無料雑誌「DIGIRECO.JR」を創刊。2018年、大学の軽音楽サークル向けの無料雑誌「DIGIRECO.SR」を創刊。同年、特定非

営利活動法人「全国学校軽音楽部協会」を設立。

音楽面では約15年前にバンドへの興味が再燃。ハードロック系イベントを主催する。その後、主催するよりも出演する方が楽しそう...ということで方向転換。高専生時代から好きだったヘヴィメタルの元祖「BLACK SABBATH」のトリビュート・バンド「BLOOD SABBATH」を結成。年間12回以上のライブを展開。編集長の立場を利用し、BLACK SABBATHのメンバーに会うなど...やりたい放題の公私混同。2013年5月、直訳ロッカーの王様と日本語でBLACK SABBATHの名曲を演奏したアルバム「黒い安息日伝説」を発売。好調な売れ行きに気を良くして、現在、第2弾を計画。2015年5月、BLACK SABBATHのギタリストであるトニー・アイオ三のトリビュート・アルバムに参加。世界デビューを果たす。

- 会社のホームページで設立以来の活動を紹介しています



- BLOOD SABBATH (www.bloodsabbath.com)



令和4年度 第1回

高等学校軽音楽コンテスト 関東大会

締切迫る!

8/24 (水)

出場バンド募集中

応募締切：6/30 (木)



詳しくはこちら

関東地方 / 1都7県から募集

(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県)

軽音協の主催大会の特長

- ①音楽大学や音楽専門学校の審査員3名によるアンサンブルの完成度を評価する審査
- ②演奏が終わるたびに審査員の講評があり、他校のバンドの演奏から学ぶことが可能
- ③パートごとに音楽大学や音楽専門学校の講師がアドバイスするコメント用紙を提供
- ④出場するバンドを集めたクリニックを本選前に開催。完成度の高い演奏をサポート
- ⑤すべてのバンドの演奏映像を編集&公開。後から何度でも視聴し、学ぶことが可能



日時：2022年8月24日 (水) 10:00~18:00 (予定)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール
東京都渋谷区代々木神園町3-1 (参宮橋駅、代々木公園駅)

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

後援：東京都教育委員会・神奈川県教育委員会・千葉県教育委員会・埼玉県教育委員会・茨城県教育委員会
(予定) 群馬県教育委員会・栃木県教育委員会・山梨県教育委員会

特定非営利活動法人

全国学校軽音楽部協会

高等学校軽音楽コンテスト関東大会事務局

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405
TEL：045-913-0901 / FAX：045-913-1900
Email：info@keionkyo.org

これまでの
大会映像は
こちら



YouTube

5464	立石市	茨城県立立石商業高等学校	軽音楽演劇同好会	7217	北州市	山梨県立北杜高等学校	軽音楽部	7666	瀬戸市	聖豊中学校・高等学校	軽音楽部	5681	京都市	京都府立北高等学校	フォークソング部	
5460	立石市	茨城県立立石第一高等学校	軽音楽部	7203	北州市	帝京第三高等学校	軽音楽同好会	7668	西尾市	愛知県立西尾高等学校	ギター部	5660	京都市	京都府立南高等学校	軽音楽部	
5463	立石市	茨城県立立石第二高等学校	軽音楽部	7218	北州市	北州市立甲陵高等学校	ギター同好会	7694	知多郡	愛知県立東浦高等学校	ギター部	5710	京都市	京都府立山城高等学校	軽音楽部	
5468	立石市	明秀学園立石高等学校	フォークソング同好会	■長野県	7287	安曇野市	長野県南安曇農林高等学校	軽音楽部	7704	知多郡	愛知県立東浦高等学校	音楽部	5685	京都市	京都府立朱雀高等学校	軽音楽部
5470	鉾田市	茨城県立鉾田第二高等学校	音楽部	7297	安曇野市	長野県南安曇農林高等学校	軽音楽部	7710	知多郡	日本福祉大学付属高等学校	音楽部	5926	京都市	京都府立南高等学校	軽音楽部	
5474	鹿ヶ谷市	長野県鹿ヶ谷南高等学校	軽音楽部	7306	安曇野市	長野県南安曇農林高等学校	軽音楽部	7679	知多郡	愛知県立立石高等学校	ギター部	5702	京都市	京都府立南高等学校	フォークソング部	
5475	鹿ヶ谷市	茨城県立鹿ヶ谷第一高等学校	軽音楽部	7307	安曇野市	長野県南安曇農林高等学校	L.M.C.	7689	東海市	愛知県立立石高等学校	軽音楽同好会	5704	京都市	京都府立山崎高等学校	軽音楽部	
5476	鹿ヶ谷市	茨城県立鹿ヶ谷第二高等学校	軽音楽部	7312	安曇野市	長野県南安曇農林高等学校	軽音楽部	7697	東海市	愛知県立立石高等学校	フォークソング部	5703	京都市	京都府立清水高等学校	軽音楽部	
5476	鹿ヶ谷市	茨城県立鹿ヶ谷南高等学校	軽音楽部	7234	伊那市	長野県伊那北高等学校	軽音楽部	7685	日進市	中部大学第一高等学校	軽音楽部	5682	京都市	京都府立西高等学校	軽音楽部	
■熊本県				7235	伊那市	長野県伊那北高等学校	軽音楽部	7712	半田市	愛知県立立石高等学校	音楽部	5675	京都市	京都府立西高等学校	フォークソング研究部	
5491	宇都宮市	宇都宮短期大学付属高等学校	軽音楽部	7251	伊那市	長野県南安曇農林高等学校	軽音楽部	7713	半田市	愛知県立立石高等学校	フォークソング部	5669	京都市	京都府立北高等学校	音楽研究部	
5482	宇都宮市	栃木県立宇都宮女子高等学校	軽音楽部	7237	塩尻市	長野県塩尻高等学校	軽音楽部	7714	半田市	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	5672	京都市	京都府立南高等学校	軽音楽部	
5484	宇都宮市	栃木県立宇都宮南高等学校	軽音楽同好会	7295	塩尻市	長野県塩尻高等学校	ギター部	7567	尾道市	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	5695	京都市	大谷高等学校	軽音楽部	
5487	宇都宮市	栃木県立宇都宮白根高等学校	軽音楽部	7239	岡谷市	長野県岡谷高等学校	軽音楽部	7726	豊田市	愛知県立立石高等学校	音楽部	5670	京都市	同志社高等学校	軽音楽部	
5492	宇都宮市	日々輝学園高等学校	軽音楽同好会	7231	伊那市	長野県岡谷高等学校	軽音楽部	7727	豊田市	愛知県立立石高等学校	音楽部	5678	京都市	同志社女子高等学校	軽音楽部	
5498	宇都宮市	栃木県立佐野高等学校	ギター部	7232	下野郡	長野県岡谷高等学校	軽音楽部	7730	豊田市	愛知県立立石高等学校	音楽部	5679	京都市	平安女子高等学校	軽音楽部	
5506	鹿沼市	栃木県立鹿沼南高等学校	軽音楽同好会	7246	茅野市	長野県茅野高等学校	軽音楽部	9500	豊田市	リネサップ豊田高等学校	軽音楽部	5712	京都市	海星高等学校	軽音楽同好会	
5507	鹿沼市	小山工業高等専門学校	軽音楽部	7293	茅野市	東海大学付属高等学校	音楽部	7735	豊田市	愛知県立立石高等学校	音楽部	5691	京都市	清風総合高等学校	軽音楽部	
5509	小山市	栃木県立立山高等学校	軽音楽部	7248	柳井市	長野県柳井高等学校	軽音楽同好会	7736	豊田市	愛知県立立石高等学校	ギター部	5713	京都市	京都府立立山高等学校	フォークソング部	
5508	小山市	栃木県立立山北高等学校	軽音楽部	7278	柳井市	長野県柳井高等学校	軽音楽部	7737	豊田市	愛知県立立石高等学校	ギター部	5716	京都市	京都府立立山高等学校	軽音楽部	
5524	足利市	足利短期大学附属高等学校	軽音楽部	7236	佐久市	佐久総合技術高等学校	軽音楽部	7741	豊田市	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	5718	相模原市	京都府立立山高等学校	通信課程ギター同好会	
5517	足利市	栃木県立足利高等学校	ギター同好会	5639	佐久市	長野県岩井高等学校	軽音楽部	7693	豊田市	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	5708	長岡市	立命館工業高等学校	軽音楽同好会	
5518	足利市	栃木県立足利女子高等学校	軽音楽部	7314	佐久市	長野県岩井高等学校	軽音楽部	9537	豊田市	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	5603	舞鶴市	舞鶴工業専門学校	軽音楽部	
5519	足利市	栃木県立足利南高等学校	フォーク部	7315	佐久市	長野県岩井高等学校	軽音楽班	7663	豊田市	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	■大阪府				
5523	足利市	白鷺大学足利高等学校	Music Art Club	7256	小諸市	長野県小諸高等学校	軽音楽部	9525	名古屋	K.C.おそろ高等学校	名古屋キャンパス	8040	大阪市	大阪府立北高等学校	音楽部	
5527	大田原市	栃木県立大田原女子高等学校	フォークソング部	7257	小諸市	長野県小諸高等学校	軽音楽部	9530	名古屋	クラーク記念国際高等学校	名古屋キャンパス	4272	大阪市	大阪府立南高等学校	軽音楽部	
5532	栃木市	栃木県立立野高等学校	軽音楽部	7224	小諸市	松山学園高等学校	軽音楽同好会	9447	名古屋	愛知県立立石高等学校	ミュージックコース	8047	大阪市	大阪府立東高等学校	定期課程 軽音楽部	
5539	栃木市	栃木県立栃木工業高等学校	ギター部	7229	松本市	松本国際高等学校	軽音楽部	7563	名古屋	愛知県立立石高等学校	音楽部	8048	大阪市	大阪府立西高等学校	フォークソング部	
5523	栃木市	栃木県立栃木女子高等学校	軽音楽部	7228	松本市	信濃つみぎ高等学校	軽音楽部	7566	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8011	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
5540	那須郡	栃木県立那須清峰高等学校	軽音楽同好会	7233	松本市	長野県松川高等学校	軽音楽部	7575	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	7986	大阪市	兵庫県立高等学校	軽音楽部	
5547	日光市	栃木県立日光工業高等学校	軽音楽同好会	7263	松本市	長野県松川高等学校	軽音楽部	7578	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	7987	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5546	日光市	栃木県立日光南高等学校	ギター部	7261	松本市	長野県松本東高等学校	軽音楽部	7648	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	7989	大阪市	大阪府立立山高等学校	N.M.C. (軽音楽) 部	
■群馬県				7262	松本市	長野県松本工業高等学校	軽音楽部	7656	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8044	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5557	安中市	群馬県立安中高等学校	軽音楽部	7263	松本市	長野県松本工業高等学校	ギター部	7683	名古屋	愛知県立立石高等学校	フォークソング部	8019	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5562	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎南高等学校	軽音楽部	7264	松本市	長野県松本工業高等学校	音楽部	7684	名古屋	愛知県立立石高等学校	音楽部	7943	大阪市	興国高等学校	軽音楽部	
5558	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎南高等学校	音楽部	7265	松本市	長野県松本工業高等学校	F.M.C. 部	7763	名古屋	愛知県立立石高等学校	J & F 部	7976	大阪市	四天王寺高等学校	軽音楽部	
5560	伊勢崎市	群馬県立伊勢崎南高等学校	軽音楽部	7266	上伊那郡	長野県上伊那南高等学校	軽音楽同好会	7766	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8003	大阪市	清風高等学校	軽音楽部	
5565	甘楽郡	群馬県立下仁田高等学校	軽音楽愛好会	7282	上伊那郡	長野県上伊那南高等学校	軽音楽部	7769	名古屋	愛知県立立石高等学校	PM 部	4276	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5570	桐生市	群馬県立桐生南高等学校	軽音楽部	7227	上田市	上田西高等学校	軽音楽部	7773	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	7959	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5577	吾妻郡	群馬県立吾妻中央高等学校	音楽部	7247	上田市	長野県丸子高等学校	軽音楽部	7560	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8002	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5579	吾妻郡	群馬県立長野原高等学校	軽音楽サークル	7267	上田市	長野県上田市高等学校	現代音楽部	7610	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8135	大阪市	大阪府立立山高等学校	Y.M.W. 部	
5583	高崎市	群馬県立高崎工業高等学校	軽音楽部	7268	上田市	長野県上田市高等学校	軽音楽部	9499	名古屋	愛知県立立石高等学校	高校課程 軽音楽部	8061	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5589	高崎市	群馬県立高崎東高等学校	軽音楽同好会	7269	上田市	長野県上田市高等学校	軽音楽・フォーク班	7613	名古屋	金城学院高等学校	軽音楽部	7963	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5584	高崎市	群馬県立高崎南高等学校	軽音楽部	7270	上田市	長野県上田市高等学校	軽音楽部	7614	名古屋	名城学院高等学校	軽音楽部	7955	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5591	高崎市	群馬県健康福祉大学附属高等学校	軽音楽部	7252	塩田郡	長野県塩田高等学校	軽音楽部	7632	名古屋	宇都宮高等学校	軽音楽部	8052	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5590	高崎市	高崎市立高崎経済大学附属高等学校	軽音楽部	7245	諏訪郡	長野県下諏訪南高等学校	軽音楽部	7657	名古屋	北女子高等学校	ギター部	7936	大阪市	関西大学北高等学校	フォークソング部	
5592	高崎市	高崎高専大学附属高等学校	軽音楽部	7305	諏訪郡	長野県下諏訪南高等学校	バンド部	9538	名古屋	星学院高等学校	名古屋習センター 軽音楽同好会	8034	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
5597	佐波郡	群馬県立玉村高等学校	軽音楽部	7271	諏訪郡	長野県諏訪清陵高等学校	軽音楽部	7674	名古屋	大同大学大同高等学校	軽音楽部	8057	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5599	佐波郡	群馬県立沼川工業高等学校	軽音楽部	7272	諏訪郡	長野県諏訪清陵高等学校	フォークソング部	7682	名古屋	中京大学附属中京高等学校	バンド研究部	4286	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5602	沼田市	群馬県立沼田高等学校	軽音楽部	7273	諏訪郡	長野県諏訪清陵高等学校	現代音楽部	7695	名古屋	東海大学附属高等学校	軽音楽同好会	8120	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
5604	沼田市	群馬県立沼田女子高等学校	軽音楽部	7275	諏訪郡	長野県諏訪清陵高等学校	F.M.C. 同好会	7696	名古屋	東海大学附属高等学校	軽音楽同好会	7915	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
5616	前橋市	群馬県立前橋高等学校	F&R 部	7274	須賀郡	長野県須賀成成高等学校	軽音楽部	7700	名古屋	東邦高等学校	軽音楽部	8041	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5614	前橋市	群馬県立前橋清陵高等学校	定期制夜間部	7241	千曲市	長野県須賀成成高等学校	軽音楽部	7703	名古屋	明陽高等学校	フォークソング部	7985	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5627	前橋市	群馬県立前橋南高等学校	軽音楽部	7242	千曲市	長野県須賀成成高等学校	フォークソング部	7705	名古屋	南山中学校・高等学校	女子部	8091	大阪市	大阪府立立山高等学校	CS1・II 部 軽音楽部	
5618	太田市	群馬県立新田高等学校	軽音楽部	7280	大町市	長野県大町南高等学校	軽音楽部	7744	名古屋	名古屋経済大学附属高等学校	軽音楽部	8062	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5620	太田市	群馬県立新田南高等学校	軽音楽部	7265	大町市	長野県大町南高等学校	軽音楽部	5640	名古屋	名古屋学院高等学校	軽音楽部	7963	大阪市	高野高等学校	軽音楽部	
5626	太田市	群馬県立新田南高等学校	軽音楽部	7253	長野市	長野県長野南高等学校	フォーク部	7747	名古屋	名古屋国際高等学校	音楽部	7920	大阪市	大阪府立立山高等学校	音楽部	
5628	前橋市	群馬県立前橋中央高等学校	軽音楽部	7254	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽部	7749	名古屋	名古屋市立南高等学校	フォークソング部	8136	大阪市	大阪府立立山高等学校	音楽部	
5631	富岡市	群馬県立富岡南高等学校	軽音楽部	7259	長野市	長野県松川高等学校	ミュージック部	7750	名古屋	名古屋市立南高等学校	ギター同好会	8036	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
5634	邑楽郡	群馬県立邑楽高等学校	軽音楽部	7286	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽班	7751	名古屋	名古屋市立工業高等学校	軽音楽同好会	8056	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
■新潟県				7287	長野市	長野県長野南高等学校	バンド分	7752	名古屋	名古屋市立北高等学校	軽音楽部	7998	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6925	加茂市	加茂短期大学附属高等学校	軽音楽同好会	7288	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽班	7754	名古屋	名古屋市立南高等学校	ギター部	7913	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6945	佐渡郡	新潟県立佐渡高等学校	音楽部	7289	長野市	長野県長野南高等学校	フォークソング部	7756	名古屋	名古屋市立南高等学校	音楽部	8037	大阪市	大阪府立立山高等学校	音楽部	
6946	佐渡郡	新潟県立佐渡総合高等学校	音楽部	7292	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽同好会	7759	名古屋	名古屋市立南高等学校	軽音楽部	7918	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6950	三島郡	新潟県立三条高等学校	軽音楽同好会	7294	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽部	7760	名古屋	名古屋市立南高等学校	軽音楽部	7981	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6955	三島郡	新潟県立出雲崎高等学校	音楽部	9506	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽部	7761	名古屋	名古屋市立南高等学校	軽音楽部	8080	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6954	糸魚川市	新潟県立糸魚川高等学校	軽音楽部	7317	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽部	7762	名古屋	名古屋大学高等学校	軽音楽部	8066	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
6951	糸魚川市	新潟県立糸魚川南高等学校	軽音楽部	7318	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽部	7763	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8062	大阪市	松山学院高等学校	軽音楽部	
6952	十日町市	新潟県立十日町南高等学校	音楽部	7295	長野市	長野県長野南高等学校	軽音楽部	7764	名古屋	愛知県立立石高等学校	軽音楽部	8130	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6959	十日町市	新潟県立十日町南高等学校	軽音楽同好会	7320	長野市	長野県長野南高等学校	フォークソング部	7774	伊賀市	三重県立伊賀高等学校	軽音楽部	7951	大阪市	関西大学北高等学校	軽音楽部	
6932	上越市	新潟県立上越高等学校	軽音楽同好会	7296	東頸郡	長野県東頸清陵高等学校	軽音楽部	7788	伊賀市	三重県立立山高等学校	軽音楽部	4289	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6939	上越市	上越高等学校	軽音楽同好会	7255	南佐渡郡	長野県南佐渡高等学校	軽音楽部	7792	伊賀市	三重県立立山高等学校	軽音楽部	7965	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6960	上越市	上越高等学校	軽音楽部	7300	飯山郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽同好会	7797	桑名市	三重県立桑名高等学校	軽音楽同好会	8078	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6941	上越市	新潟県立高田南高等学校	軽音楽同好会	7301	飯山郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	7798	桑名市	三重県立桑名高等学校	音楽部	8140	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6943	上越市	新潟県立高田北高等学校	軽音楽部	7302	飯山郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	800	三重郡	三重県立立山高等学校	軽音楽部	7992	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6961	上越市	新潟県立上越総合技術高等学校	軽音楽同好会	7304	飯山郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	7804	四日市市	三重県立立山高等学校	軽音楽部	7962	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6930	新潟市	新潟県立巻高等学校	ギター部	7283	北佐渡郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	7807	四日市市	三重県立立山高等学校	軽音楽部	8010	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6965	新潟市	新潟県立新潟工業高等学校	音楽部	7298	北佐渡郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	7841	四日市市	三重県立立山高等学校	バンド部	4298	大阪市	興国高等学校	軽音楽部	
6974	新潟市	新潟県立新潟西高等学校	軽音楽同好会	7249	北佐渡郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	7823	四日市市	大崎学園高等学校	軽音楽部	8049	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6977	新潟市	新潟県立新潟中央高等学校	ギター部	7279	北佐渡郡	長野県飯山南高等学校	軽音楽部	7814	松本市	三松高等学校	軽音楽同好会	8090	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
7026	新潟市	新潟県立津波工業高等学校	音楽部	7275	木曾郡	長野県津波南高等学校	軽音楽部	9522	大阪府	三松高等学校	軽音楽部	8171	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
7024	新潟市	新潟県立津波南高等学校	ギター部	■徳島県	7287	北条市	徳島県北条南高等学校	軽音楽部	7822	津市	三重県立津南高等学校	軽音楽部	4284	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部
6970	新潟市	新潟市立明鏡高等学校	軽音楽部	7335	可児市	岐阜県立可児高等学校	軽音楽部	7827	津市	三重県立津南高等学校	軽音楽部	8051	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
6973	新潟市	新潟県立女子高等学校	音楽部	7327	岐阜市	岐阜県立可児高等学校	軽音楽部	7829	津市	三重県立津南高等学校	オリジナルソング部	7922	大阪市	大阪府立立山高等学校	軽音楽部	
7025	新潟市	北越高等学校	軽音楽同好会	7366	岐阜市	清美高等学校	フォークソング部	7831	津市	三重県立津南高等学校	ロック部	4292	大阪市	大阪府立立山高等学校	フォークソング部	
6988	新発田市	新潟県立														

7967	堺市	大阪府立堺西高等学校 軽音楽部	5829	神戸市	兵庫県立東灘高等学校 軽音楽部	8380	広島市	広島県立北園高等学校 軽音楽部	6129	福岡市	福岡県立福岡高等学校 キター部
7968	堺市	大阪府立堺東高等学校 軽音楽部	5799	神戸市	兵庫県立舞子高等学校 軽音楽部	8388	広島市	広島県立五日市高等学校 軽音楽部	6130	福岡市	福岡県立玉名高等学校 軽音楽部
7969	堺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5841	神戸市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8402	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	9448	福岡市	北海道芸術高等学校 福知山キャンパス (軽音楽部)
8020	堺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5818	神戸市	兵庫県立立花高等学校 キター部	8404	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6122	福岡市	立花高等学校 軽音楽部
8081	堺市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5819	神戸市	兵庫県立立花高等学校 キター部	8406	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6141	福岡市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
9069	堺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5952	神戸市	神戸市立高等学校 キター部	8409	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6173	北九州市	福岡県立立花高等学校 キター部
8097	堺市	大阪府立立花高等学校 音楽部	5869	西宮市	神戸市立高等学校 軽音楽部	8421	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6175	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
8105	堺市	大阪府立立花高等学校 音楽部	5862	西宮市	神戸市立高等学校 軽音楽部	8429	広島市	広島県立立花高等学校 キター部	6150	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
8111	堺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5856	西宮市	西宮市立西宮東高等学校 軽音楽部	8430	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6171	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
8115	堺市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5858	西宮市	兵庫県立西宮中山高等学校 軽音楽部	8413	広島市	広島県立立花高等学校 フォークソング部	6155	北九州市	福岡県立立花高等学校 キター部
4270	堺市	東大谷高等学校 軽音楽部	5854	西宮市	兵庫県立尾崎高等学校 軽音楽部	8416	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6162	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
4301	堺市	大阪府立立花高等学校 PMC	5872	西宮市	兵庫県立西脇高等学校 キター部	6016	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6160	北九州市	福岡県立立花高等学校 キター部
4300	堺市	初芝立命館高等学校 新音楽部	5878	川西市	兵庫県立川西高等学校 軽音楽部	8428	広島市	広島県立立花高等学校 フォークソング部	6159	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
4265	堺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5881	川西市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8437	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6153	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
8082	三島郡	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5883	相生市	兵庫県立相生高等学校 軽音楽部	8440	広島市	広島県立立花高等学校 音楽班	6168	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
7978	四條畷市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5884	多可郡	兵庫県立多可高等学校 軽音楽部	8448	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6174	北九州市	福岡県立立花高等学校 フォークソング部
4294	守口市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5887	丹波市	兵庫県立丹波高等学校 キター部	8449	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	6165	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
4271	守口市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5924	淡路市	兵庫県立淡路高等学校 キター部	8471	広島市	広島県立立花高等学校 フォークソング部	6176	北九州市	福岡県立立花高等学校 キター部
7921	守口市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5892	朝来市	生野高等学校 キター部	8457	広島市	広島県立立花高等学校 音楽部	6178	北九州市	福岡県立立花高等学校 軽音楽部
4297	守口市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5738	南あすπι市	兵庫県立淡路高等学校 音楽部	8470	三原市	広島県立立花高等学校 音楽部	6187	北九州市	福岡県立立花高等学校 音楽部
4279	松原市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5904	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8435	三原市	広島県立立花高等学校 音楽部	6183	柳川市	杉本高等学校 軽音楽部
7987	松原市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5895	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8373	山形県	広島県立立花高等学校 軽音楽部	長崎県		
8006	松原市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5905	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8374	山形県	広島県立立花高等学校 フォークソング部	8226	長崎県	活水高等学校 軽音楽部
8067	松原市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5901	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8455	山形県	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8844	長崎県	純心中学校、純心女子高等学校 軽音楽部
8068	堺区	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5897	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8423	山形県	広島県立立花高等学校 音楽部	8866	長崎県	長崎県立立花高等学校 軽音楽部
8009	堺区	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5899	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8462	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8867	長崎県	長崎県立立花高等学校 キター部
8116	堺区	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5894	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8376	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8859	長崎県	創成高等学校 音楽部
8024	堺区	同志社大学高等学校 軽音楽部	4274	尼崎市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8377	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8809	堺市	菊池女子高等学校 軽音楽部
8095	吹田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5908	美咲市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8488	広島市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8909	堺市	菊池女子高等学校 軽音楽部
7973	吹田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5924	姫路市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8362	日南市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8914	玉名市	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
7923	吹田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5922	淡路市	兵庫県立立花高等学校 キター部	8432	日南市	広島県立立花高等学校 音楽部	8915	玉名市	熊本県立立花高等学校 キター部
7997	吹田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5918	姫路市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8467	日南市	広島県立立花高等学校 キター部	8902	熊本市	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
8014	吹田市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5931	姫路市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8468	日南市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8907	熊本県	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
8118	吹田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5917	姫路市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8438	日南市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8921	熊本県	熊本県立立花高等学校 フォークソング部
8000	摂津市	星槎高等学校 音楽部	5930	姫路市	兵庫県立立花高等学校 キター部	9270	尾道市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8925	熊本県	熊本県立立花高等学校 キター部
8033	摂津市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5912	姫路市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8475	尾道市	広島県立立花高等学校 音楽部	8936	熊本県	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
8003	摂津市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5932	姫路市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8473	尾道市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8977	熊本県	熊本県立立花高等学校 音楽部
4268	東佐野市	大阪府立立花高等学校 K 音楽部	5911	姫路市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	9534	尾道市	尾道高等学校 MUSIC 同好会	8922	熊本県	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
7964	東佐野市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5921	姫路市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8445	府中市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8928	熊本県	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
8017	東大津市	大阪府立立花高等学校 音楽部	5937	彦摩郡	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8476	府中市	広島県立立花高等学校 フォークソング部	8931	熊本県	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
4267	東大津市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	9549	明石市	兵庫県立立花高等学校 音楽部	8371	福山市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8943	熊本県	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
8129	東大津市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	9517	明石市	兵庫県立立花高等学校 音楽部	8367	福山市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	8933	上益城郡	熊本県立立花高等学校 音楽部
7917	東大津市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	9497	明石市	兵庫県立立花高等学校 音楽部	8443	福山市	広島県立立花高等学校 音楽部	8963	八代市	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
7842	大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5965	姫路市	姫路市立立花高等学校 軽音楽部	9447	福山市	広島県立立花高等学校 音楽部	8940	八代市	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
7977	大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5963	姫路市	姫路市立立花高等学校 軽音楽部	9479	福山市	広島県立立花高等学校 フォークソング部	8948	八代市	熊本県立立花高等学校 軽音楽部
8134	大塚市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5962	姫路市	姫路市立立花高等学校 フォークソング部	8424	福山市	広島県立立花高等学校 軽音楽部	9000	大分市	大分県立立花高等学校 軽音楽部
8139	大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5968	吉野郡	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	8458	豊田郡	広島県立立花高等学校 音楽部	9004	大分市	大分県立立花高等学校 音楽部
7992	池田市	渋谷高等学校 アコースティック音楽同好会	5967	吉野郡	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8520	山口県	広島県立立花高等学校 軽音楽部	9017	竹田市	竹田高等学校 軽音楽部
7926	池田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5969	五條市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8494	宇部市	山口県立立花高等学校 軽音楽部	9040	別府市	明豊中学校、高等学校 軽音楽部
8068	池田市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5973	柳井市	兵庫県立立花高等学校 音楽部	8498	宇部市	山口県立立花高等学校 音楽部	9087	宇部市	日章学園九州高等学校 軽音楽部
7998	池田市	アナン学園高等学校 軽音楽部	5979	柳井市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8500	下関市	山口県立立花高等学校 音楽部	9072	延岡市	延岡高等学校 軽音楽部
4265	東大塚市	徳誠学園高等学校 軽音楽部	5977	柳井市	兵庫県立立花高等学校 キター部	8558	下関市	山口県立立花高等学校 軽音楽部	9045	延岡市	延岡高等学校 軽音楽部
7916	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5987	大塚市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8529	下関市	山口県立立花高等学校 軽音楽部	9073	延岡市	延岡高等学校 軽音楽部
7916	東大塚市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	5985	大塚市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8529	下関市	山口県立立花高等学校 キター部	9075	延岡市	延岡高等学校 軽音楽部
7981	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5984	大塚市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽部	8449	山口県	山口県立立花高等学校 軽音楽部	9096	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部
8107	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5991	大塚市	兵庫県立立花高等学校 フォークソング部	9502	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	9096	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部
8108	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6005	奈良市	奈良県立立花高等学校 音楽部	8552	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	9079	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部
8109	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6007	奈良市	奈良県立立花高等学校 音楽部	8559	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	9078	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部
8107	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6008	奈良市	奈良県立立花高等学校 音楽部	8538	高崎市	高崎高等学校 軽音楽部	9084	日向市	高崎高等学校 軽音楽部
8139	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6008	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	8579	徳島市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部	9091	北沢郡	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8086	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6002	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	8579	徳島市	徳島県立立花高等学校 音楽部	9117	徳島市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8087	東大塚市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6000	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	8600	徳島市	徳島県立立花高等学校 音楽部	9177	久岡郡	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
4282	藤井寺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6010	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	8614	さぬき市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部	9193	久岡郡	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8090	藤井寺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	5996	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	8615	さぬき市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部	9168	藤井寺市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8093	藤井寺市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	6009	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	8615	さぬき市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部	9126	藤井寺市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8286	南河内郡	上宮太子高等学校 軽音楽部	6003	奈良市	奈良県立立花高等学校 軽音楽部	9822	丸亀市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9134	藤井寺市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
7938	柏原市	関西福祉科学大学高等学校 キター部	8162	伊勢郡	高野山高等学校 軽音楽部	9822	丸亀市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9133	藤井寺市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8064	柏原市	大阪府立立花高等学校 キター部	8160	伊勢郡	高野山高等学校 軽音楽部	9818	丸亀市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9146	藤井寺市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8102	八尾市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8146	海部郡	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8630	高松市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9147	徳島市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8103	八尾市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8146	海部郡	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8634	高松市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9190	出水市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8104	八尾市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8143	海南市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	9520	高松市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9158	出水市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
7911	富田林市	PL 学園高等学校 軽音楽部	8178	紀の川市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8631	高松市	香川県立立花高等学校 フォークソング部	9153	西之表市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
7927	富田林市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8154	橘市	和歌山県立立花高等学校 キター部	9521	高松市	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9146	日置市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
4288	富田林市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8176	柳井市	和歌山県立立花高等学校 フォークソング部	8645	小豆郡	香川県立立花高等学校 キター部	9149	霧島市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部
8106	富田林市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8173	田辺市	和歌山県立立花高等学校 キター部	8646	香南市	徳島県立立花高等学校 軽音楽部	9213	うるま市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
7970	富田林市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8176	田辺市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8690	松山市	愛媛県立立花高等学校 キター部	9214	うるま市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8015	豊中市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8180	有田郡	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8695	松山市	愛媛県立立花高等学校 軽音楽部	9225	うるま市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
4295	豊中市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8167	和歌山市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8703	松山市	愛媛県立立花高等学校 軽音楽部	9228	うるま市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8113	豊中市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8162	和歌山市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8703	松山市	愛媛県立立花高等学校 軽音楽部	9258	うるま市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8098	豊中市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8188	和歌山市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8733	安芸市	香川県立立花高等学校 キター部	9197	うるま市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8098	豊中市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8184	和歌山市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8017	香川郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9196	浦添市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
4293	豊中市	常盤高等学校 軽音楽部	8186	和歌山市	和歌山県立立花高等学校 軽音楽部	8745	香川郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9230	浦添市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8038	枚方市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8194	鳥取市	鳥取県立立花高等学校 軽音楽部	8733	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9259	浦添市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
7957	枚方市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8184	鳥取市	鳥取県立立花高等学校 軽音楽部	8737	高岡郡	香川県立立花高等学校 フォークソング部	9220	浦添市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8070	枚方市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	9518	米子市	米子工業高等学校 軽音楽部	8738	高岡郡	香川県立立花高等学校 音楽部	9194	沖崎市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8121	枚方市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8266	益田市	明誠高等学校 軽音楽部	8740	高岡郡	香川県立立花高等学校 キター部	9211	沖崎市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8123	枚方市	大阪府立立花高等学校 フォークソング部	8264	津江市	石見智恵高等学校 軽音楽部	8744	高岡郡	香川県立立花高等学校 フォークソング部	9244	沖崎市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8008	真面目市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8233	津江市	鳥取県立立花高等学校 音楽部	8758	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9246	沖崎市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
8126	真面目市	真面目高等学校 軽音楽部	8232	鹿嶋市	鳥取県立立花高等学校 音楽部	8739	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9222	沖崎市	沖縄県立立花高等学校 軽音楽部
9125	真面目市	真面目高等学校 軽音楽部	9241	出雲市	出雲高等学校 軽音楽部	8742	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9189	直野郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部
8132	真面目市	大阪府立立花高等学校 ロック部	8247	松江市	松江高等学校 軽音楽部	8743	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9247	直野郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部
8133	真面目市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8252	松江市	松江高等学校 軽音楽部	8747	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9246	直野郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部
7994	和泉市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8249	松江市	鳥取県立立花高等学校 フォークソング部	8764	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9208	宮古郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部
8099	和泉市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8275	岡山市	岡山県立立花高等学校 軽音楽部	8769	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9209	宮古郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部
8121	和泉市	大阪府立立花高等学校 軽音楽部	8285	岡山市	岡山県立立花高等学校 軽音楽部	8770	高岡郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部	9205	宮古郡	香川県立立花高等学校 軽音楽部
5740	たつの市	兵庫県立立花高等学校 軽音楽									

KEI O N G A K U B U S E M I N A R

軽音楽学ぶセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

【参加校】

大谷高等学校・京都光華高等学校・京都府立嵯峨野高等学校・京都府立城陽高等学校・京都府立清明高等学校・京都府立田辺高等学校・同志社女子高等学校・京都府立洛東高等学校

【協力】

京都府高等学校軽音楽連盟
ビジュアルアーツ専門学校

5/3 軽音楽学ぶフェス@京都府高等学校軽音楽連盟 (大谷高校)

開始	終了	分	関係者集合 (協会/講師) 打ち合わせ/軽食/サウンドチェック 会場: 大谷高等学校 (京都市東山区今熊野油田町12番地) : 集合場所: C-2 教室				
11:00		60					
12:00			参加校集合/開場 (集合場所: 懇心館)				
12:30	12:45	15	開会式、進行説明、スタッフ紹介				
12:45	12:55	10	各教室に移動				
			ボーカル	ギター	ベース	ドラム	キーボード
講師	西山真紀先生	小林 晴先生	酒室明大先生	近藤聖利先生	高山淳文先生		
教室	視聴覚教室	L21 教室	L31 教室	懇心館	C-1 教室		
12:55	13:30	35	初級編	初級編	初級編	初級編	初級編
13:30	13:35	5	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
13:35	14:15	40	初級編	初級編	初級編	初級編	初級編
14:15	14:20	5	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
14:20	15:00	40	応用編	応用編	応用編	応用編	応用編
15:00	15:05	5	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
15:05	15:45	40	応用編	応用編	応用編	応用編	応用編
15:45	15:55	10	移動				
15:55	16:15	20	バンド・クリニック (京都光華高等学校)				
16:15	16:35	20	バンド・クリニック (同志社女子高等学校)				
16:35	16:55	20	バンド・クリニック (京都府立嵯峨野高等学校)				
16:55	17:15	20	バンド・クリニック (大谷高等学校)				
17:15	17:20	5	準備				
17:20	17:30	10	中締め・閉会式/アンケート回収				
17:30	17:45	15	音楽/エンタメ業界の職業紹介と専門学校の紹介 (自由参加)				

新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い、2018年以降、開催の見送りが続いていた技術講習会「軽音楽学ぶセミナー」ですが、万全の対策を実施し、実に4年ぶりに京都で開催することができました。今回は府内より8校/約240名が参加。コロナ禍で満足にできなかった楽器の基礎知識や演奏スキル向上のコツを講師による指導のもとで学びました。

開会式が済むと、早速、パートごとに各教室へ移動。講義では、ボーカルは発声練習や自宅でできるボイス・トレーニングを、ギターやベースは楽器の構え方から始まり、チューニングのコツや運指練習、ベースは指弾きとピック弾きの使い分けについて学びました。ドラムはメトロノームを用いたスティック・コントロールに挑戦。キーボードは各部の役割の紹介から音作りの基本までを教わりました。

後半は各校の代表バンドによるアンサンブルのクリニックです。演奏後に各パートの講師が講評を伝え、今後につながるアドバイスを伝授。他校の生徒たちも自分のことに置き換えて、耳を傾けました。



「今日のような講習会は初めてだったのですが、どれも新鮮で楽しく参加することができました。他校や講師の先生方の演奏を聴いて、演奏技術や音色作りなど、参考になることばかりでした」「パートごとの講義では基礎からいろいろと学ぶことができ、教わったことを地道に続けていこうと思いました」(京都府立城陽高等学校)



「初めて教わることも、既に知っていることも今日は深く学ぶことができ、どれもタメになることばかりだったので、参加して良かったです」「他校の演奏に刺激を受け、講師の先生のアドバイスを自分のことに置き換えて聞いていたので、とても勉強になりました。早速、学校で実践しようと思います」(京都府立洛東高等学校)



「とても良い経験になりました。講師の先生に質問したところ、優しく教えてくださったのと、質問したこと+αのアドバイスもいただけたので、嬉しかったです」「普段、見落としがちな基礎の部分をしっかりと教えてくださったので、とても良かったです。来れなかった部員にも共有したいと思います」(京都府立田辺高等学校)



▲クリニックでは代表バンドが演奏を披露し、講師がアンサンブルを中心にアドバイス。見学の生徒も耳を傾けました



▲キーボード：鍵盤をタッチする際の角度と強さについて



▲譜面を見ながら、自分の楽器でフレーズの基礎練習に挑戦



▲ボーカル：発声練習と自宅のできるボイス・トレーニング



▲ギター：ドレミファソラシド…の音階を用いた連指練習



▲ベース：指弾きをする際の右手の角度と弦をはじくコツ



▲ドラム：メトロノームを使ったスティック・コントロール



▲代表者に叩いてもらい、もっと良くなるためのコツを伝授



「普段の部活動では学べないようなことや貴重なお話が聞けて、とても勉強になりました」「私は高校3年生で、コロナ禍で今日のような技術講習会に参加するのは初めてだったのですが、今日は大会の緊張した雰囲気ではなく、リラックスした空気が流れていたのが、楽しく講義を聞くことができました」(同志社女子高等学校)



「私はベースの講座を受けたのですが、小指の使い方を教わりました。教えていただいたことを練習して、次の大会に向けて頑張りたいです」「今日は基礎的な部分を一から見直すことができ良かったです。ドラムの先生が『歌うようにドラムを叩く』という表現をされていたのが、とても印象に残りました」(京都光華高等学校)



「講師の先生方から基礎技術をしっかりと教えてもらうことができたので、良かったです。いろいろな高校が集まって参加する場を作ってくれた、とても良い刺激になりました」「講義の後に先生に質問をしに行ったのですが、悩んでいることに対するアドバイスをいただけたので、嬉しかったです」(京都府立嵯峨野高等学校)

軽音楽がセミナー

【参加校】

滋賀県立石山高等学校・近江高等学校・滋賀県立大津高等学校・滋賀県立草津東高等学校・比叡山高等学校・滋賀県立東大津高等学校

【協力】

滋賀県高等学校軽音楽部会 / 大阪音楽大学

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

5/5 軽音楽部フェス@滋賀県高等学校軽音楽部会(草津東高校)

開始	終了	分	開催/参加校集合(教室棟3階教室)				
11:00	11:00	60	関係者集合(総合/講師) 打ち合わせ/軽食				
			会場: 草津東高等学校(滋賀県草津市西田12-9-65) 集合場所: ギャラリー(2階)				
開始	終了	分	開催/参加校集合(教室棟3階教室)				
12:00	12:00		関係者集合(総合/講師)				
12:30	12:45	15	大会議室にて-開会式、進行説明、講師紹介				
12:45	13:00	15	各教室に移動				
			ボーカル	ギター	ベース	ドラム	キーボード
講師	サツムラエイト先生	山下航史先生	渡崎州平先生	柳村正則先生	山下善治先生	音楽室	教室棟4階教室
大会議室	教室棟4階教室	教室棟4階教室	教室棟4階教室	音楽室	教室棟4階教室		
13:00	13:40	40	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)
13:40	13:50	10	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
13:50	14:30	40	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)	初級編(新入部員対象)
14:30	14:40	10	移動→大会議室				
14:40	14:55	15	開会式/アンケート回答→回収				
14:55	15:20	15	音楽/エンタメ業界の紹介				
開始	終了	分	開催/参加校集合(教室棟3階教室)				
15:20	15:20		関係者集合(総合/講師)				
15:30	15:40	10	大会議室にて-開会式、進行説明、講師紹介				
15:40	15:50	10	各教室に移動				
			ボーカル	ギター	ベース	ドラム	キーボード
講師	サツムラエイト先生	山下航史先生	渡崎州平先生	柳村正則先生	山下善治先生	音楽室	教室棟4階教室
大会議室	教室棟4階教室	教室棟4階教室	教室棟4階教室	音楽室	教室棟4階教室		
15:50	16:30	40	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)
16:30	16:35	5	休憩	休憩	休憩	休憩	休憩
16:35	17:15	40	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)	応用編(上級生対象)
17:15	17:25	10	移動→音楽室				
17:25	17:45	20	バンド・クリニック(近江高校)				
17:45	18:05	20	バンド・クリニック(大津高校)				
18:05	18:15	10	移動→大会議室				
18:15	18:25	10	開会式/アンケート回答→回収				
18:25	18:40	15	音楽/エンタメ業界の紹介				

連休真っ只中の5月5日。滋賀県では初めてとなる「軽音楽がセミナー」を滋賀県立草津東高等学校で開催しました。感染症対策を実施の上、滋賀県内より6校/約200名の軽音楽部員が参加。新入部員対象の「第1部」と上級生対象の「第2部」という風に参加者を分ける形で行いました。

定刻となり、開会式で講習会の趣旨を説明し、講師陣の紹介が終わると、パートごとに教室へ移動し、レッスンを開始。講義は40分ずつを2コマ行いました。ボーカルは発声練習や腹式呼吸のコツの解説からゴスペルを用いた歌唱法のレッスンを、ギターやベースはアンプへのつなぎ方や基礎的な運指練習から自宅でもできるウォーミングアップのコツを紹介。ドラムは叩く際の正しいフォームや基礎トレーニングを、キーボードは音色の作り方やオリジナル曲のアレンジの講義を行いました。

第2部の後半には代表バンドによるアンサンブルのクリニックを実施。講師がアンサンブルを中心に講評を伝え、見学の生徒も自分のバンドのことに置き換えて話を聞きました。



「僕はボーカルの講義を受けたのですが、歌う際の呼吸法や姿勢などの技術的なことから音楽を楽しむことまで、幅広く教えてくださったので、楽しかったです」「ドラムの講義では基礎的な部分から1人ずつ実際に叩いてアドバイスをいただくなど、普段の部活動ではできない貴重な経験をさせてもらえました」(比叡山高等学校)



「講師の先生に自分の演奏を見てもらい、アドバイスをいただくような機会がなかったので、今日は的確な指摘や改善点を教えることができ、とても貴重な時間になりました」「初めて学ぶことが多々あり、こんな方法があるんだ!という発見もあったなど、より一層、基礎練習を頑張ろうと思いました」(滋賀県立大津高等学校)



「他校の演奏を聴いて、バンドとしてのまとまりも、個人の技術的にも、私たちはまだまだだな...と感じたので、教わったことを部活動で共有したいと思いました」「初めて講習会に参加させていただき、「他校の生徒はこんな質問をするんだ...」というのを強く感じたので、もっと頑張ろうと思いました」(滋賀県立石山高等学校)



▲クリニックではアンサンブルにまつわるアドバイスをを行い、見学の生徒も自分のバンドのことに置き換えて聴講しました



▲新入部員対象の第1部には各校から116名が参加しました



▲上級生対象の第2部には2年生、3年生…88名が参加



▲ボーカル：自宅でできる発声練習と歌唱時の姿勢について



▲ギター：ギター・アンプへのつなぎ方と各部の名称&役割



▲ベース：正しいベースの構え方と指弾きをする際のコツ



▲ドラム：両手と両足を使ったウォーミングアップに挑戦



▲キーボード：打鍵時のスムーズな指の移動と音階について



「講義の前は緊張していたのですが、先生がとても優しく、内容もすんなりと頭に入ったので、今日は来て良かったです」「初心者にわかりやすいように丁寧に教えていただけました。クリニックで演奏したバンドへのアドバイスも自分たちのバンドに生かせることばかりだったので、参考になりました」(滋賀県立東大津高等学校)



「今日は緊張していたのですが、その緊張がフワッとほぐれるくらいに楽しい時間でした。新しく学んだことも多々あり、とても勉強になりました」「基礎的な部分から見直すことができ、自分自身の再確認にもなりました。今回のセミナーで教わったことをこれからの目標にしていきたいと思いました」(滋賀県立草津東高等学校)



「講師の先生に教えてもらうのは初めての体験だったのですが、基礎的なことにも新しい学びがあったり、人前に出て挑戦する大切さも教えてもらいました」「ドラムのフィルインについて質問したのですが、回答+αのことや全員に共通して言えることもお話ししてくださり、とても勉強になった1日でした」(近江高等学校)

第26回 軽音合同演奏会

2022年5月8日 専門学校東京ビジュアルアーツ



大型連休の最終日にあたる5月8日(日)、首都圏近郊の高校軽音楽部を対象にした「軽音合同演奏会」を専門学校東京ビジュアルアーツで開催しました。コロナ禍ということもあり、首都圏での開催は1年半ぶりとなります。感染症拡大防止の観点から参加校を分ける形で、午前と午後の2部制で実施。8校/18バンドが参加しました。

当協会の合同演奏会は「軽音楽部の練習試合」という位置づけで開催しています。演奏者はもちろん、「他山の石」として観覧者にも演奏する楽しさや活動していく上での刺激を感じてもらおうべく、3つの目的を掲げています。1つ目は、高校の音楽系部活動に所属する生徒に発表の場を与え、他校の演奏を観覧する機会を提供すること。2つ目は、演奏後に音楽大学/音楽専門学校の講師による講評を受けることで、今後の練習の参考にすること。3つ目は、合同演奏会を通じて参加校の生徒や顧問間の交流を図り、切磋琢磨して欲しいと考えています。

開会式を行い、講師の紹介が終わると、早速、1バンド目の演奏からスタート。講師は専門学校東京ビジュアルアーツの岩本先生と榎木先生、そして、当協会の辻 副理事長が務めました。講評では「トップバッターで緊張したと思いますが、とても堂々とした演奏でした。正しい方向で上達しているので、このまま発表の数をこなしていけば、より良い演奏になりますので、ぜ

ひ頑張ってください。いくつかアドバイスをすると、全体的にキーが高いと思います。原曲のままだと、ボーカルさんが歌うサビが裏声になってしまうので、カラオケのキー・チェンジをする感覚で、キーを変える(移調する)と歌いやすくなります。また、少し高度な話になりますが、みんな上手に演奏していますが、体がフラついてしまっています。全員でリズムを取り、特にドラムのスネア・ドラムを叩くところ…2拍目と4拍目でノれるようになると、さらにグルーブ感が出て、アンサンブルにまとまりが生まれるので、意識してみましょう」という講評が伝えられました。

また、別のバンドには「基本的な音作りは、よくできています。ただ、もう少し研究すれば、さらに良くなると思います。それは音域を意識した音作りをするということです。例えば、2本のギターがまったく同じ音を出すと、偏りができて音が痩せてしまい、アンサンブルの中で聴こえにくくなってしまいます。そこで、『私はシャリ〜ン!という感じの音作りをするね』とか『私は丸みのある、温かいサウンドを担当するね』という風にバンド内でディスカッションをしましょう。楽器の音の個性も加味しながら演奏できると、一人ひとりの音が聴こえて、かき消されることもないので、ぜひ楽器の持つサウンドを意識してみてください」というアドバイスがあり、各バンドが今後の参考にしました。

【参加校】東京都立小山台高等学校/品川女子学院/大成高等学校/中央大学杉並高等学校/神奈川県立市ケ尾高等学校/柏木学園高等学校/埼玉県立越谷西高等学校/埼玉県立草加南高等学校



▲今回は8校/18バンドがコピー曲やオリジナル曲を披露



▲東京ビジュアルアーツのメディアホールで開催しました



▲講師の先生に講評で伝えられたことをメモしています



▲演奏会の終演後に集合写真を撮影しました(午前の部)



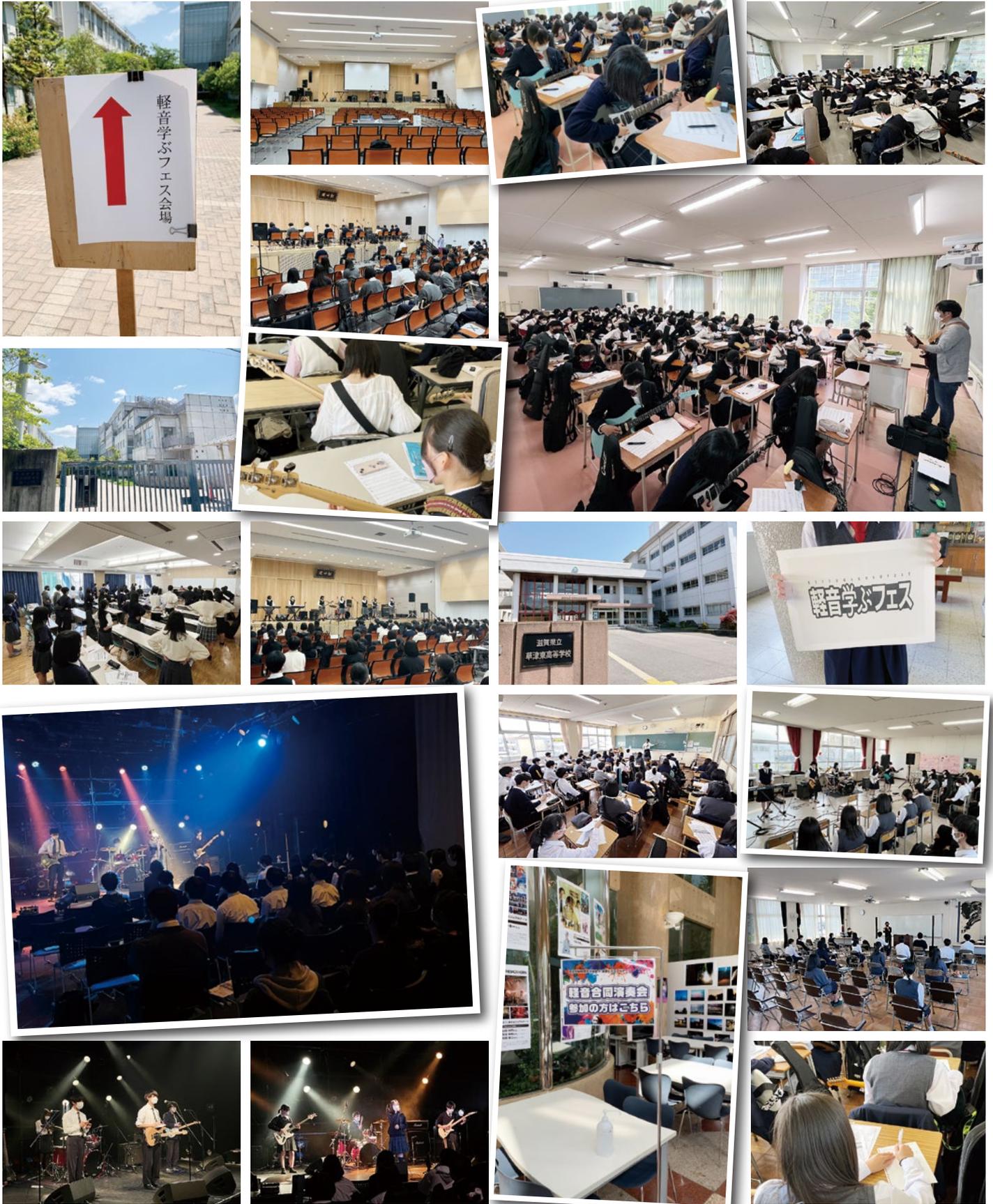
▲演奏会の終演後に集合写真を撮影しました(午後の部)

軽音学ぶセミナー

軽音合同演奏会

フォトギャラリー

5月3日(京都府)、5日(滋賀県)、8日(東京都)と、合計で538名の軽音楽部員の皆さんと時間を共有しました。高校は違えど、同じ軽音楽部員が一堂に会して講習を受けたり、他校の演奏や講評を聞く機会は、なかなかありません。イベントへの参加を通じて、切磋琢磨の気持ちが芽生え、モチベーションの向上につながりました。

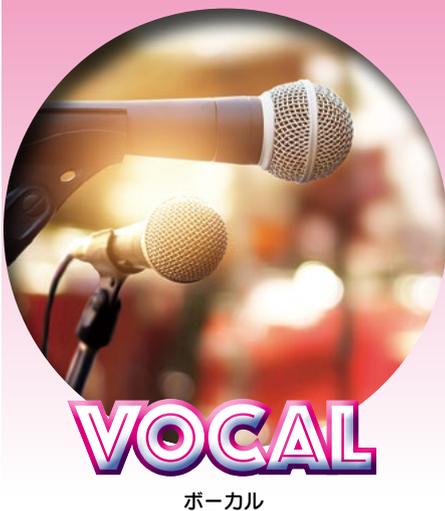


準備万端整えよう！

Are you ready?

ライブ「本番」までに やっておくべきこと！

軽音楽部での活動や楽器の演奏をする上で、目標の1つとなるのが「ライブ」です。夏はただでさえ各地で大会やコンテストが多くなる季節。コロナ禍で活動が制限されていた2年生3年生にとっては、待ちに待った「本番」という人も多いでしょう。ライブはその名の通り泣いても笑っても一発勝負。悔いのないステージを万全の体制で迎えるためには、しっかりとした準備が必要です。今年の夏も暑くなりそうです。夏の大会を最高の思い出にしよう！



余裕を持つための準備

メンタル的に余裕を持つためには、早めにメロディーと歌詞を覚えることが一番です。メロディーと歌詞が早くから頭に入っていれば、発声やリズム、感情を込めた細かい表現といった「歌うこと」に意識を持っていくことができます。歌詞を覚えるには、自分で「書く」ことが近道です。同時に「プレス」の位置や歌い方などを書き込んでいくと、やるべきことが明確になっ

ていきます。楽器が弾ける人や音符が読める人は、メロディーの音程確認をしておくことでピッチが安定します。

また、フロントマンとして客席に気を配りながらライブを盛り上げることもボーカリストの大事な役割です。バンドのアンサンブルのまともりや、演出に気を配れるようになっておかなければなりません。特に、楽器も演奏する人は覚えることが多いのでなおさらです。

ライブでは、歌うことだけではなく見た目も大事です。自分では大きく動いているつもりでも、撮った動画を見返すと意外とこじんまりしていた…なんてこともよくあります。鏡を使って、自分がどう見えているのかを何度も確認しておきましょう。大事なものは目線です。しっかりと前を向いて、目や表情で客席に歌を届けられるように、歌詞カードや楽器からいち早く目線を離せるようにしましょう。

機材の扱い

ボーカリストは、基本的にマイクとマイク・スタンドが唯一の機材です。楽器を弾きながら歌う人は、マイク・スタンドの位置や高さ、角

度をシミュレーションしておきましょう。ハンド・マイクの場合は、マイクの持ち方も普段から気をつけておきましょう。いつも練習している場所とライブ会場では音響の環境が違います。マイクのグリル部分を覆うように握ったり、モニター・スピーカーにマイクを向けたりしてハウリングを起こさないように注意してください。

モニター・スピーカーがある学校なら、自分の声の返り具合の調整を試しておくこと本番でも怖くありません。自分の声がどのくらい聞こえていれば歌いやすいかを知っておくと、サウンド・チェックの時に指示しやすくなります。

体調管理

ボーカリストがライブ本番までに最も気をつけなければいけないのは体調管理です。体が楽器であるボーカリストは、風邪をひかないようにすることはもちろん、喉のケアも忘れずに行いましょう。本番の日が近くなったら大声で騒いだりせず、よく睡眠を取り、辛い物など刺激の強いものは口にしないようにしましょう。本番直前の練習でも、頑張ってる歌いすぎると喉が枯れてしまうこともあるので要注意です。



GUITAR

ギター

フレーズのチェック

本番でベストなプレイをするためには、できるだけ反復練習をして、体で覚えていくしかありません。何度もミスしてしまうフレーズは本番でも間違える可能性が高いので、その部分だけ集中して繰り返し練習しましょう。しかし、それでも弾けないフレーズは、余裕を持って弾けるフレーズに変えてしまうのも1つの方法です。これは逃げではなく、いわゆる「リスク・マネジメント」というものです。

ギター・ソロを弾く場合は、ソロの最初と最後を何度も練習しておきましょう。気持ち良くソロに入れたり、きれいに終わることができれば、ソロ全体に安定感が出て、結果として楽曲全体も良い印象になります。

アンプとエフェクターの準備

ギター・アンプは、できれば普段の練習のうちから本番と同じ機種を使用して、ツマミの位置を決めておきましょう。エフェクターを使う場合も、練習中にしっかりと音作りしておくことはもちろんですが、スイッチングするのであれば、各音色のボリューム設定も忘れずしておきましょう。

しかし、どんなに事前に調整をしても、本番のステージでは聴こえ方が変わります。実際にそうなった時に、すぐに微調整ができるように、アンプやエフェクターのことをちゃんと理解しておきましょう。エフェクターを借りたり使い回したりするのはやめておいた方が無難です。自分が使い慣れているものでなければ、トラブルに素早く対処できません。

意外とおそろかにされがちなのが、音色を切り替えるタイミングです。小節のアタマからが

良いか、弾き始める1拍前の方が良いか…。ソロなどでステージの前に出るといったパフォーマンスも考慮して確認しておきましょう。

また、エフェクターを使う場合は、出番の前のできる限りエフェクター・ボードに組んでおいて、ボードごとステージへ持って行けるようにしておくことでセッティングが早くなります。事前にシミュレーションしておきましょう。

弦、チューニング、楽器の状態

ギターの弦は、本番の前日に張り替えておきましょう。張り替えたらチューニングが安定するまで弾いて、弦をよく伸ばしておいてください。それでも温度差によってチューニングは狂ってしまうので、ステージに上がった後何度もチェックしましょう。張り替えただけの弦でも突然切れることがあるので、予備の弦を持参することは必須です。普段からよく弦が切れてしまう場合は、楽器店で見てもらいましょう。

その他、プラグやシールド・ケーブルといった電気系統の接触不良や、ネックの反り、オクターブ調整などの楽器の状態も事前にチェックしておき、本番は万全の状態に臨めるようにしましょう。



BASS

ベース

フレーズのチェック

ベースは、リズムとコード（和音）の両方でボトムを支える、アンサンブルではとても重要なパートです。しかし、バンドで音を出している時は正しく演奏できているのかわかりづらいパートでもあります。練習中は演奏を録音して、客観的に自分のプレイを確認しましょう。

個人練習を怠らないようにするのはもちろんですが、どうしても弾けないフレーズは思い切って簡単にしてしまうことも、ミスが目立つベー

スには有効な手段といえます。自分のことだけにとらわれず、他のメンバーの音にも意識を向けられるようになることが大切です。

具体的には、コードに対して自分が弾いている音が間違っていないか、ドラムが出すリズムやフレーズとのコンビネーションは悪くないかななどを、何度もチェックしましょう。

アンプとエフェクターの準備

ライブでは複数のベーシストが同じベース・アンプを使うことになるので、当日のサウンド・チェックで作った音色や音量は、忘れないようにメモしたり写真に撮っておきましょう。

広い会場になると、シールド・ケーブルをアンプだけではなく、D.I.（ダイレクト・インジェクション・ボックス）につなぎます。これは、音響スタッフに任せれば良いことで、自分で用意するものではありませんが、初めて使用する場合は少し戸惑ってしまうかもしれません。事前に確認して、もし使用することになるのであれば、使い方や音の間こえ方などを先輩に聞いておきましょう。

エフェクターに関しては、あらかじめ普段の

練習の時に音作りをしておき、ライブ当日は微調整をする程度に留めましょう。事前の音作りを終えたら、蛍光シールなどで目盛りをマーキングしておくことで便利です。なお、音の劣化を少なくするため、本番で使わないエフェクターは外しておきましょう。

弦、チューニング、楽器の状態

事前準備としてとても大切なのは、弦の交換とチューニングです。弦は手汗や皮脂などで劣化し、音にハリがなくなります。交換の時期は人それぞれですが、本番前日には弦を交換しましょう。また、交換したばかりの弦はチューニングが狂いやすいので、演奏する前に何度も確認するようにしましょう。念のために予備の弦は必ず準備しておくことで安心です。

楽器は使うにつれて状態が変わります。本番当日に音が出なくなってしまう...ということにならないように、本番日が近づいて少しでも心配なことがあれば、楽器店に持って行ってもらいましょう。シールド・ケーブルの断線やプラグの接触不良もよくあります。楽器と同じように普段から大切に扱ってください。



ドラム

テンポとフレーズ

ドラマーが必ずやっておくべきことは、演奏する楽曲のテンポを確認することです。本番では緊張やセッティングの焦りから、テンポが速くなってしまふことがあります。演奏する楽曲のテンポを把握しておき、普段の練習の時から演奏前には必ずメトロノームで確認するようにしておきましょう。個人練習では、そのテンポのメトロノームに合わせて練習して、ズレてしまふ部分を重点的に復習しておきましょう。

本番が近づいて、どうしても叩けないパターンやフィル・インは、無理なく叩けるフレーズに変えてしまうことも、バンド全体のことを考えれば間違いではありません。

セッティングの確認

ライブでのドラム・セットは、普段使っている機種と違うことの方が多いと思います。セッティングしづらかったり叩きにくく感じることもあるかもしれません。なるべくいつもと同じように調整したいところですが、はっきり言ってこの部分は諦めるしかありません。しかし、本番で使用するドラム・セットのタム・ホルダーの形状やタムのインチと深さ、シンバルの数などを事前に確認しておき、できるものは前もってシミュレーションしておくことで安心です。

持ち込み機材が多い場合、転換時のセッティングに時間がかかります。タムやシンバルの角度、各スタンドやイスの高さなどの調整もあるので、なるべく早くセッティングを終えて演奏前に深呼吸できるくらいの余裕があるとベストです。数回しか叩かない小物はセッティング・リストから外すなど、持ち込み機材をなるべく少なくしていきましょう。

反対に、演奏面で最も影響する「ペダル」は自分のものを持参の方が良いでしょう。踏み心地がいつもと違うと、演奏に集中できなくなったりします。しかし、好みに調整している時間はありません。早めにペダル購入を検討して、体に馴染ませておきましょう。スネアを持ち込むのであれば、打面ヘッドは前日に張り替えて、少し叩いておくことで皮が馴染みます。

セッティングにどのくらい時間がかかるのかを事前に測って、セット・チェンジの練習を何度もしておくことで時間短縮につながります。

音量のバランス

大きな会場では、ドラムにもマイクを立てます。叩く音量が小さ過ぎるとマイクが音を拾わなかったり、突然大きな音を出すとスピーカーが壊れてしまう可能性もあるので、音量の加減が大切です。普段からバランスの良い音量で演奏できているかを心がけて練習しましょう。

スネアの安定度、3点（スネア、バス・ドラム、ハイハット）の音量バランス、フィル・インの音量などをチェックしておきましょう。特にフィル・インは、リズムが乱れ、音量も小さくなりがちです。意識して練習しておきましょう。



キーボード

フレーズの整理

既存曲をコピーする時、たくさんキーボードのフレーズが入っていて、どうやっても演奏できない場合もあります。また、高度なテクニックが必要なフレーズも多く、再現できないこともあると思います。全体像を把握して、このセクションではどのフレーズがあった方が良いかを取捨選択したり、どうしたら不自然ではなく似た感じに聞こえさせられるかを検討する必要があります。スプリット機能を使ったりフレーズ

ズを簡素化するなど、有効な手段を考えて早めに整理しておきましょう。

複数の音色を使う場合、連続して音色を変えなければならない時などは、なるべく音が途切れないようにスイッチングできる方法を考えて、繰り返し練習しておきましょう。ボタンを押すタイミングを見つけれれば良いのですが、ダンパー・ペダルを使って音を伸ばしておく、フット・スイッチを使って足で操作する…などの方法もあります。

音作りの整理

キーボードは、様々な音を出すことができる楽器ですが、その威力を発揮させるには事前の準備が不可欠です。例えば、ピアノ演奏をする場合、音色はたくさん入っているはずなので、すべて弾いて音色を確かめ、バンド練習の時に内蔵エフェクターやイコライザーを使って音色を変えてみましょう。他に使う音色があれば、同様にすべて試しておきましょう。

演奏する楽曲が既存曲でもオリジナルでも、使う音色が決まったら整理しておきましょう。作った音色や音量を保存できる機種の場合は、リネー

ムしてライブで使う順にセーブしておくことで便利です。ボタン1つで音色チェンジができれば、本番はプレイに集中できます。

本番で会場のキーボードを使用する場合は、必ず事前に機種をリサーチしてUSBメモリなどで自作の音色を取り込めるのかを確認しておきましょう。取り込めない場合は、当日の音色作りに時間がかからないように、事前に楽器店で本番と同じ機種を触っておけば安心です。

セッティングの確認

本番の会場では、キーボード・スタンドが使い慣れていないタイプの場合があるので、事前にスタンドの種類を確認しておきましょう。当日のセッティングは、高さ調整以外にも電源コードを挿す、シールド・ケーブルをD.I.(ダイレクト・インジェクション・ボックス)につなぐ、ペダル類を準備する…とたくさんあります。普段から素早くできるようにしておきましょう。

大きな会場ではステレオで出力することが一般的です。多くのキーボードはアウトプットがステレオになっているので、普段の練習の時からステレオで出力するようにしましょう。

アンサンブル

バンドやユニットで演奏する利点は、「1人ではない」ということです。メンバー同士で助け合い、おぎない合うことで、演奏が「1 + 1 = 2」以上のものになります。逆に言えば、1人ひとりが個々にどんなに頑張っても、全員がまとまった「合奏」をしていなければ良い音楽にはなりません。本番までに、個々の技術力を生かした「全員で音楽する」ことの最終確認をしましょう。+



音のバランスを取る

ライブ本番と普段の練習場所では、立ち位置や共鳴、使用機材などが違うため、当然ながら自分たちが出すサウンドの聞こえ方が変わります。広いステージに慣れていれば、ある程度予測して音作りをしておくこともできますが、どちらにしても当日の微調整は必要です。しかも、サウンド・チェックの時と本番の聞こえ方も客席に人が入ると変わります。普段から、ギター・アンプやベース・アンプ、ミキサーの音色や音量のバランス、スネア・ドラムのチューニング、コーラスの音量…など、バンド全体のサウンドが良いバランスになっているかを常に意識して、演奏しながらでも微調整できるようにしておきましょう。

音色や音量のバランスは、セクションによっても変える必要があります。例えば、ギターはコード弾きからソロなどの単音弾きになるだけでも、音圧に差が出て音が小さくなったように聞こえてしまいます。エフェクターを使用する場合は、変化がつくように設定をしておき、常にバンドが出す音の中でのバランスを気にしましょう。キーボードの音量調整は、慣れないうちはボリューム・ペダルを使うよりも、楽器のマスター・ボリュームで操作する方が繊細に表現できる場合もあります。

バンド練習では、各パートの音量や音色のバランス具合をメンバー同士お互いにチェックし合い、指摘し合っていきましょう。

リズムを合わせる

アンサンブルにおいて、唯一すべてのパートが共有できるものが「リズム」です。バンドのリズム（グルーヴ）は、メンバーそれぞれが良いリズムで演奏できていないと生まれません。自分の演奏を気にしつつ、どこかで他のメンバー

のことも感じていられるくらいになることを目指しましょう。

最も有効なのは、体でリズムを感じて、動きながら歌ったり演奏することです。お互いの体の動きを見ながら、リズムを合わせていく練習を繰り返しましょう。

キー、感情を共有する

音楽は、単に各パートのフレーズが重なってできているわけではありません。音楽にはキー（調）があり、調性感というものがあります。いくらコードやフレーズをコピーしたり、自分でフレーズを考えたとしても、最終的におかしく

ないかの判断は自分たちの「耳」で行わなくてはなりません。押さえているフレットや鍵盤が合っているから必ず正しいということはありません。チューニングの正確さも含め、自分たちは音楽を奏でているのだということを意識しながら、サウンドをまとめていきましょう。

メンタル面においては、歌詞の共有が最も大切です。しかし、「知っている」と「理解していること」は違います。また、その歌詞が言いたいこと、音楽に乗せて表現したいことがメンバー間で共有されているかも別な話です。セクションごとの感情の動き、ドラマの作り方が、全員で表現できているかを常に確認しながら、練習を繰り返していきましょう。



▲ライブは全員で作上げるもの。力を1つに合わせよう



▲良いアンサンブルにはメンバーとの話し合いが不可欠

ここも忘れずにチェック!

本番の日が近づいたら、本番のステージを想定してセット・チェンジから演奏終了後の片付けまでを含めた一連の流れを、そのまま通してやってみましょう。セッティングから演奏を始めるタイミング、MC、ステージング…なども本番と同じように予行演習することで、当日慌てることなく演奏に集中することができます。動画を撮影して確認したり、



他のバンド同士で修正点を意見交換しあうと、さらに効果的です。



▲録音や録画をして演奏を客観的にチェック!

ステージング

ライブでは、演奏力だけではなく、客席に対しての「視覚的な表現」が求められます。大会やコンテストでも、ステージ・パフォーマンスが賞への評価につながります。しかし、本番で自分の演奏やバンド・アンサンブルが崩れないように注意しながら「動く」ことは簡単ではありません。本番への最終調整として、個人として、チームとして、ステージングの準備も怠らないようにしておきましょう。

一体感を「演出」する

ステージング、ライブ・パフォーマンス…などいろいろな言い方をしますが、端的に言えば、ライブでは視覚的な表現も大事ということです。ライブ経験があまりない人は、恥ずかしかったり自分の演奏で精一杯になってしまうかもしれませんが、まずは、無理なくできることから頑張っていきましょう。

バンドのステージングのキーワードは「一体感」です。メンバー全員が一丸となってステージを作り上げることが大切です。その一体感を意識すればするほどアンサンブルはまとまり、バンドとしてのトータル・サウンドも良いものになっていきます。可能であれば、一体感の演出として「衣装」を合わせることも効果的です。様々な面からライブでの「見え方」「見せ方」を考えていきましょう。

表情、目線を考える

楽曲には、歌詞やアレンジにそれぞれ「感情」が含まれています。楽しい、悲しい、切ない、嬉しい、怒り、希望、失望、迷い…。楽曲の中で、その感情が変化していくことも多いでしょう。それを歌（歌詞）や楽器の演奏という耳から入る情報だけではなく、目からも訴えかけていくことが「ステージング」です。

歌詞や表現したいことの感情に添った表情をすることは、とても効果的です。特に、目元や口の動きは重要です。それは、ボーカリストだけではなく、メンバー全員が考えておくべきポイントです。

少なくとも、演奏中は常に客席の方を意識して、目線を大きな会場の2階席中央あたりをイメージしてプレイできるようにしましょう。特に楽器陣は、ずっとネックや鍵盤ばかりを見てしまいがちです。なるべく前を向いて演奏するように心がけましょう。

動きを考える

イントロやサビの前、最後の締めなどの「ここぞ!」という時にはドラムを方を見たり、キメ、シンコペーションなどのリズムに変化が起きる箇所には、全員で体の動きを合わせてリズムの取り方をユニゾンさせることも、バンドの一体感として映ります。

普段の練習を録音・録画して客観的に確認しているバンドも多いと思いますが、録画した映像を音を消して見てみてください。想像していたよりも動きが少なく感じるのではないかと思います。



◀本番を想定した「ライブ練習」をしておくで舞台でも余裕が出る

ここも忘れずにチェック!

ライブ本番のステージに「照明」がある場合は、ステージング演出のプランに組み入れましょう。事前に配布されているセッティング図に「全体的に青っぽくしてほしい」「Aメロは薄暗い中でボーカルにピンスポットを」「エンディング前のキメは、リズムを合わせてピカピカして」といったリクエストを書き込んでおきましょう。できることには制限が



ありますが、「お任せします!」という優しさが実はスタッフを一番困らせるものです。



▲照明のイメージもメンバーで話し合おう

ロックの 解体新書

ロックという音楽が生まれてから既に 70 年近くの月日が流れ、今でも多くの人から愛され続けている名曲がたくさんあります。皆さんが普段聴いている楽曲の中にも、何十年後かにはスタンダードとなって、その時代の人たちに愛されていく楽曲があるかもしれません。名曲と言われる楽曲は歌詞が良い、メロディーが良い、アレンジが良い、演奏がうまいといったことだけではなく、それらを表現するプレイヤーの音楽的センスによってしっかりと絡み合っています。楽曲を「解体」してみれば、そこには必ず名曲が「名曲」となる秘密が隠されているはずです。ぜひ例題曲のコピーをする時やオリジナル曲を作る時の参考にしてください。





ロックの解体新書 ボーカル編

文・伊丹谷良介

RADWIMPS 前前前世

～ロックの疾走感とキャッチーなボーカル～

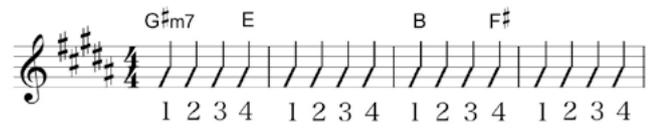


「ラッド」の愛称で親しまれ、今や日本を代表するバンドに成長した RADWIMPS。2016年に劇伴音楽担当として参加したアニメ映画「君の名は。」の挿入歌として、この楽曲が大ヒットしたことも記憶に新しい。実を言えば、この楽曲は彼らにしてみればかなりポップでキャッチーな部類なのだが、ロックな疾走感の中でキャッチーなメロディーを歌いこなすボーカルの魅力を解説していこう。

テンポとバンドのアクセント・・・・・・・・・・

RADWIMPSの楽曲は、どれも抜群なメロディー・センスに溢れているが、この楽曲では速いテンポに歌をしっかりと乗せて歌っているところが魅力だ。テンポは♩ = 190なのだが、この速さで8分音符や16分音符を使い分けてしっかりと歌えるようにするためには、細かいニュアンスまで歌詞の言葉やメロディーの解釈を深めていく必要がある。少々難易度は高いが、この楽曲をコピーして歌うのであれば、まず、テンポをしっかりと取り、バンドのリズムを体全体で感じられるようにすることが大切だ。イントロの16小節の流れから、テンポ感とリズムをしっかりと掴んでAメロが歌われていることに注目して聴いてみよう。

また、この楽曲はテンポの速さに加え、Bメロでは「スリッ・ビート」に聴かせるメロディーとコード・チェンジのアクセントになっている(譜例)。ストレートなサビへの布石として大切な部分だ。拍子を見失わないように、バンドの演奏としっかりと合わせるように心がけよう。



譜例 Bメロのコード・チェンジの場所。ボーカルのアクセントも同様

ダイナミクスに合わせた「メリハリ」・・・・・・・・・・

歌い方はセクションによって変わっている。Aメロでは地声の強い声ではなくウisper気味に歌っているが、Bメロでは一転して力強い歌い方になる。バンドのダイナミクスとボーカルの歌い方をリンクさせてメリハリをつけているのだ。その後の部分では、息をたっぷりと含んだ声で優しく歌い、サビ前のロングトーンでは、「伸びやかに」「柔らかく」「強く」「はっきり」発声している。Bメロの中だけでも、これだけのメリハリをつけているところも、歌がキャッチーになるポイントの1つだ。

このテンポで歌うには、早口言葉のような複雑な滑舌になってしまうかもしれないが、うまく歌えない場合は、まずテンポを落として歌詞の「母音」と「子音」をきちんと感じながら、唇・舌・歯などの口の動きを確認してみよう。何度も反復して口の動きに慣れてきたら、徐々にテンポを上げていくと良いだろう。鏡に向かって口の動かし方をチェックしてみるのも効果的だ。

盛り上がるサビでは歌が速くなってしまっても多いが、自身も楽器を演奏するボーカリストの野田洋次郎は、バンドとのグルーブが共有されているため安定している。また、高音でもしっかりと喉を開き、サビらしい芯のある声で広がりのある発声がされている。



▲楽器を演奏しながら歌うボーカリストならではのメリハリ

参考にするなら、この曲もオススメ!



BUMP OF CHICKEN
天体観測
カリスマ的な人気を誇るバンド、BUMP OF CHICKENのメジャー2枚目(通算3枚目)のシングルで、彼らの代表曲の1つ。バンドとリンクするボーカルのダイナミクスやメリハリなど、「前前前世」との共通点も多い。2001年リリース。



OASIS
Wonderwall
1990年代に一世を風靡したイギリスのロック・バンド、オアシスの1995年にリリースされた2ndアルバム『Morning Glory』からのシングル・カット。ロック・アレンジにアコースティック・ギターとストリングスのアレンジが秀逸。



back number 花束

～楽曲を魅力的にするリズムとギター～



back number は、2011年にメジャー・デビューした、数々の恋愛ソングを世に送り出している3人組ロック・バンドだ。「花束」は、同年発売の2ndシングルで、彼らの代表曲の1つである。不安げな中に、どこかキュンとしてしまう歌詞が印象的なこの楽曲を、より一層魅力的にしているのが、リズム・アレンジとイントロのコード進行だ。

楽曲に軽快感を生む「ハネる」リズム・・・・

この楽曲は、ゆったりとしていつも軽快な印象があるが、それは16分音符の裏のビートが「ハネている」からだ。ハネない16分音符は「タカタカ…」、ハネた16分音符は「タッカタッカ…」となるのだが、ハネる感覚はメロディーを歌ってみるとわかりやすいだろう。

音符で表すと、6連符の2番目と5番目の音を休符にした形になるのだが（譜例）、この楽曲のように8分音符中心のバックイングの場合は、ただ弾くだけではハネた感じは出ない。単純にダウン・ピッキングで8分音符を弾くだけではなく、ストローク自体が「タッカタッカ」と16分音符がハネていることが重要だ。腕でハネようとはせずに、体でハネたリズムを感じながらストロークすると良いだろう。

音源をよく聴けば、8分音符の間のハネた16分音符の装飾音符やカッティング音に気がつくはずだ。Aメロのミュート気味のカッティン



譜例 タイミングは上を参考に、体で「ハネた」16分音符のリズムを感じよう

グ、Bメロのアルペジオを交えたコード弾き、サビのコード・ストローク、ソロでの単音弾き…と、すべての演奏がハネているため、少しウキウキした気持ちが伝わってくるのだ。楽曲のアレンジとして重要な部分なので、バンド練習ではハネる感覚を音で合わせるのではなく、お互いの体の動きで合わせていくことが大事だ。

世界観を作るフレーズとサウンド・メイク・・・・

イントロのギターが弾くコード進行が、この楽曲の世界観を一層期待させるものになっている。始めの2小節はコード「D」のメジャー感、次の2小節はコード「Em」のマイナー感で支配し、明から暗という流れができています。それぞれには、D(レ)→C#(ド#)→C(ド)からB(シ)に着地するように、コード内の1つの音が2拍ごとに半音ずつ下がっている。これは「クリシェ」といわれる技法の1つで、単調なコードに変化を持たせ、印象的なイントロ・フレーズを作る要因となっている。

また、この楽曲のギターの音作りは粒立ちが良く、少しマイルドなサウンドが印象的だ。演奏する場合は、シングル・コイル搭載のギターで、歪み系のエフェクターは「オーバー・ドライブ」系がお勧めだ。サウンドにより優しさを求めるなら、「コーラス」や「トレモロ」などの空間系エフェクトを隠し味的にかけるとも有効だろう。



▲シングル・コイルのテレキャスタータイプで、ピックアップ・セレクターの位置はセンターが良いだろう

参考にするなら、この曲もオススメ！



斉藤和義 歩いて帰ろう

シンガー・ソング・ライター、斉藤和義の4thシングル。テンポの速い「シャッフル」という8分音符がハネたリズムがベースになっていて、その軽快さが歌詞をより一層引き立てている。リズム・ギター、ソロも秀逸。1995年リリース。



Led Zeppelin Stairway to Heaven

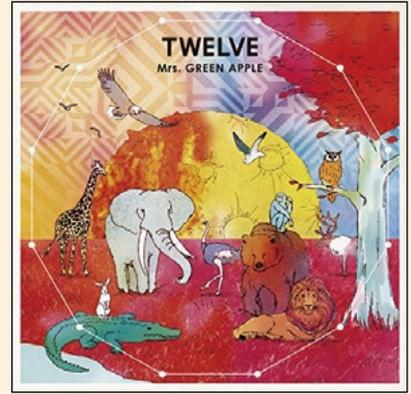
イギリスの伝説的なロック・バンド、レッド・ツェッペリンが1971年にリリースした世界的ヒット曲。邦題は「天国への階段」。8分にも及ぶ大作だが、中でもイントロからAメロにかけてのクリシェを用いた美しいアルペジオのフレーズは有名。



文・山田潤一

Mrs. GREEN APPLE パブリック

～バス・ドラムと絡み合うベース～



この楽曲は、2022年春に活動が再開された Mrs. GREEN APPLE の2016年にリリースされた1stフル・アルバム『TWELVE』に収録されている。シングル・カットされているわけではないが、アルバム・ジャケットのイメージにもなっていることから、バンドにとって重要な位置づけだったのだろうと想像できる。ボーカル&ギターの大森元貴が高校2年生の時に作曲したということも驚きだが、リズム隊をはじめ、メンバーの演奏力の高さにも注目だ。

ベーシスト、高野清宗は残念ながら2021年に脱退が発表されたが、音源に残された演奏は失われることはない。

バス・ドラムとの関係性

この楽曲のベースの特徴は「バス・ドラムとの絡み」にある。もちろん、ベースとバス・ドラムは基本的に合わせて弾くものだが、この楽曲ではそれがより強固になっている。ベースは、Aメロに入った瞬間に休符となって8小節目から入ってくるのだが、ルートと5度を使った印象に残るフレーズを弾いている。この時、ベースはドラムのバス・ドラムに合わせて1、3拍目の8分音符にアクセントをつけているのだが、これによってベースの勢いのあるフレーズが自然と楽曲に馴染み、Aメロ後半をよりスピード感のあるものにしていく。

同様に、Bメロもバス・ドラムとベースはほとんど同じリズムで弾いている(譜例)。基本的に2小節目パターンのフレーズになっているのだ



譜例 音符の上下に付いた「・」がスタッカート。音符を短く切って弾こう

が、ポイントはスタッカートと2小節目2拍目の休符にある。この2つが合わさることで、少し息のつまったようなリズムが生まれ、歌詞の内容にマッチした程良い緊張感を生むことに成功している。演奏する時は、ダウン/アップが規則正しいオルタネイト・ピッキングで弾くことが大事だ。

さらに、サビ前のキメもスタッカートで弾くことで、その後の休符を引き立てる役割をしている。特に最後の音符の切り際は、とても短く演奏されていることがポイントだ。

ベースのサウンド・メイキング

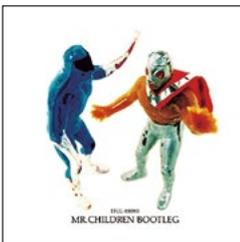
この楽曲で使用されているのはジャズ・ベース・タイプで、基本的にピックを使って演奏している。サウンドは歪み成分を強くして「コンプレッサー」を強めにかけている印象だ。ドラムの、特にバス・ドラムはもちろんのこと、他のパートやコーラスなどが重なってもしっかりと聴こえるサウンド・メイキングになっている。画像を見ると、エフェクター・ボードにはコンプレッサーが入っていないように見受けられるので、コンプレッサーはレコーディングの時のみかけているのかもしれない。

さらに、ボードには「プリアンプ」が3機種も入っていることから、歪みサウンドはエフェクターではなくプリアンプで作られ、ライブでは楽曲によってプリアンプを使い分けられていると思われる。



▲ジャズ・ベース・タイプ+プリアンプのサウンド・メイク

参考にするなら、この曲もオススメ!



Mr.Children マシンガンをぶっ放せ

「ミスチル」の愛称で親しまれ、現在のロック・バンドに多大な影響を与え続けるミスター・チルドレンが1996年にリリースした12枚目のシングル。ベースとバス・ドラムの2パートだけでも楽曲が成立するような絡みが心地良い。



Foo Fighters The Pretender

2008年のグラミー賞で最優秀ハードロック・パフォーマンス賞を受賞した、アメリカのロック・バンド、フー・ファイターズの代表曲。キメの一体感と音符の長さが絶妙。タイトなのに音符に余裕のあるグルーヴは必聴。2007年リリース。



ロックの解体新書 ドラム編

文・辻 伸介

夜の本気ダンス By My Side

～「ディスコ・ビート」で踊らせよう!～



2008年に京都で結成され、各フェスやイベントなどで熱狂的な人気を博した4人組バンド、夜の本気ダンス。この楽曲は、2015年にリリースされたインディーズ時代の4thシングルだ。「皆さん、踊れる準備はできていますか!？」を合い言葉にしている彼らの楽曲は、どれもソリッドなリズムと印象的なリフ&メロディーに思わず体が動いてしまうダンス・チューンばかりだ。中でも、グルーブの要となるドラムは、難しいパターンよりも、シンプルで効果的なパターンとフィル・インから生まれる「タイトなループ」と「スピード感」が重視されている。

タイトなループを生むバス・ドラムとハイハット・・・

1970年代後半から80年代にかけて世界的に流行した「ディスコ・ミュージック」は、ディスコという盛り場で流れていた音楽のことで、日本ではこの時代によく使われていたドラム・パターンを、「ディスコ」あるいは「ディスコ・ビート」として定型化している。

この楽曲もそうだが、タイトにループするグルーブを生む秘密の1つは、4分音符を強調するためスネアと一緒に2拍目4拍目にも踏まれているバス・ドラムと、主にハイハットなどの金物系で軽快に演奏される「裏拍」のアクセントにある。低音のバス・ドラムと高音のハイハットが刻むループは、それだけで踊り出したいようになってくる。

夜の本気ダンスのドラム・パターンには、この「ディスコ・ビート」がよく登場するが、この楽曲は其中でも多様なバリエーションのハイハット・パターンが聴けて面白い。Aメロのようなシンプルに裏拍を叩くだけのもの(譜例①)、サビで見られるハイハットをオープンさせて裏拍から表拍へのリズムを強調したもの(譜例②)、そして、Bメロなどのように16分音符を付け足したもの(譜例③)...

どれもディスコ・ビートとしては王道だが、1つひとつのどのショットにも鋭いスピード感があるところがポイントだ。このショット・スピー

ドが、ドラミング全体にタイトさと緊張感を与え、楽曲そのものにゴキゲンなスピード感をもたらす最大のポイントとなっている。



譜例 どのパターンも正確な4分音符のバス・ドラムとハイハットのアップを意識しよう

セットもフィル・インも「シンプル・イズ・ベスト」

ドラマーの鈴鹿秋斗のナチュラルなサウンドを重視した音作りは、ディスコ全盛時代を彷彿とさせるダンス・ミュージック系の楽曲と、ポップ&ロックなバンドのカラーによく合う。チューニングやミックス・ダウンのエフェクトでもあまり音を加工せず、「生」のドラム・サウンドを生かすような音作りになっている。

セッティングは、シンプルなワンタム&ワンフロアに、低くセットされたシンバルという組み合わせで、フィル・インもボーカルを邪魔することなく、楽曲を生かす最低限のフレーズが多いのも特徴的だ。

どちらからも「リズム」「グルーブ」を最優先にしていることがわかる。

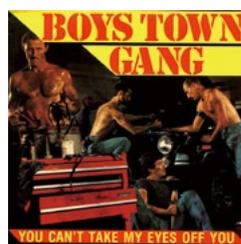


▲インディーズ時代から変わらないシンプルなセット

参考にするなら、この曲もオススメ!

ウルフルズ ガッツだけ!!

ロック・バンド、ウルフルズの人気を決定づけた9thシングル。ディスコ・サウンドを狙っただけあって、定番のドラム・パターン、オクターブ奏法のベース、16分音符のギター・カッティングなど、随所に定番パターンが聴ける。1995年リリース。



Boys Town Gang Can't Take My Eyes Off You

アメリカのディスコ・バンド、ボーイズ・タウン・ギャングが1982年にリリースしたF・ヴァリィの名曲の最も有名なカバー・バージョン。今でも多くのアーティストにカバーされる。もちろんドラム・パターンは王道。邦題は「君の瞳に恋してる」。



ロックの解体新書 キーボード編

文・竹中敬一

SHE'S パレードが終わる頃 ～ 3 連リズムのキーボード・アレンジ～



SHE'S は、2011 年に結成された男性 4 人組のロック・バンドで、この楽曲は、2017 年にリリースされたメジャー 1st フル・アルバム『ブルーストと花束』に収録されている。全作品の作詞／作曲、ボーカルとピアノ（たまにギター）を担当する井上竜馬を中心としたサウンドは、バンドでキーボードを弾く人にはとても参考になるだろう。歪んだギターで厚みを持たせるバックিংとは違って、サウンド全体がクリアで、セクションごとの表情のつけ方も心地良いキーボード・アレンジは見事だ。

演奏パターンの違いでセクションを表現・・・・・・・・

「シャッフル」の 3 連リズムが軽快なこの楽曲のイントロは、1 拍 3 拍がバンド全体のキメで、2 拍 4 拍はピアノの「合いの手」になっている。この合いの手は、3 連符の頭の音が休符になっているため独特のうねりが生まれている。演奏する時は、「1、2、3、4」のビートをしっかりと体で感じた上で、「ンツタツタツ・ンツタツタツ…」と、最初の音を弾かない 3 連符の練習を繰り返し行くと良いだろう（譜例）。リズムが崩れないように注意が必要だ。

A メロに入ると、両手を使ったアルペジオ・パターンとなるが、このパターンは、まず左手で 3 連符、次に右手で 3 連符と演奏されている。左手から右手に移った時に、タッチによる音色やリズムが揃っていて、しっかりとリズムがキープされているところがポイントだ。左手の指の



譜例 イントロのパターン。しっかり 3 連符を意識しながら弾こう

柔軟な動きが大事になってくるが、メトロノームを使ってじっくりと練習していくと良いだろう。

B メロには、メロディーをなぞるように「2 拍 3 連符」のリズムが出てくる。3 連符を 1 つ飛ばして演奏するように大きく感じてリズムを取る 2 拍 3 連符を挿入することで、それまでの雰囲気を一変させている。

そして、サビに出てくるバックিং・パターンは、いわゆる「王道」のバックিংなのだが、このサビへと引っ張り込む手法は見事で、明るく華やかなサビの印象を作っているともいえる。また、バックングでコードを弾いている音域よりも、1 オクターブほど高い場所で弾いて目立たせているところもポイントだ。

生ブラス・セクションを再現・・・・・・・・

2 コーラス目のサビ前の間奏で「ブラス・セクション」のフレーズが登場する。生のトランペット、アルト・サクソ、テナー・サクソの 3 声に聴こえるが、音源はシンセサイザーのようだ。

3 連符のリズムに乗るには音色やフレーズにキレが必要だが、シンセサイザーではそこまでの繊細な表現ができないので、アタックや細かい音量の変化をつけるために「ブレス・コントローラー」などの、自分の息で音をコントロールするタイプを使うと、本物の管楽器を演奏しているイメージを持ってフレーズを再現できるかもしれない。



▲ウインド・シンセサイザー。AKAI EWI5000

参考にするなら、この曲もオススメ！



The Monkees Daydream Believer

日本でも大人気を博したアメリカのバンド、ザ・モンキーズが 1967 年リリースした大ヒット曲。冒頭のシャッフル・リズムでのピアノ・イントロは有名。メロディーもキャッチーで美しく、忌野清志郎他、多くのミュージシャンがカバーする。



カシオペア Zoom

日本のフュージョン・バンド、カシオペアの 12th アルバム『Down Upbeat』に収録。16 ビートを基本とした鉄壁のアンサンブルが特徴。フックになる部分の 3 オクターブ近い音域の 3 連符アルペジオのユニゾンは難易度高し。1984 年リリース。

軽音楽コンテスト を観に行こう！

今年も軽音楽コンテストの季節がやって来ました。当協会では、近畿北陸地方・中部地方に加えて、今夏より関東地方を対象にしたブロック大会を開催します。コピー曲／オリジナル曲を問わずにアンサンブルを中心に審査し、演奏後に審査員から講評が伝えられるなど、観覧者も大いに勉強になる大会です。軽音楽部員の皆様のご来場をお待ちしています。

関東

第1回 高等学校軽音楽 コンテスト関東大会



詳しくはこちら

8/24 (水)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール
時間：10:00～18:00

出場校：関東地方 / 1都7県

(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県、山梨県)



中部

第6回 高等学校軽音楽 コンテスト中部大会



詳しくはこちら

8/4 (木)

会場：名古屋文理大学文化フォーラム 中ホール
時間：12:00～18:00

出場校：東海・中部・北陸地方 / 10県 (愛知県、静岡県、岐阜県、三重県、長野県、山梨県、新潟県、富山県、石川県、福井県)



近畿
北陸

第4回 高等学校軽音楽 コンテスト近畿北陸大会



詳しくはこちら

7/31 (日)

会場：舞鶴市総合文化会館 大ホール
時間：10:00～17:00

出場校：近畿・北陸地方 / 2府8県 (大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、三重県、滋賀県、和歌山県、富山県、石川県、福井県)



特定非営利活動法人

全国学校軽音楽部協会

TEL 045-913-0901 / FAX 045-913-1900
Email info@keionkyo.org

これまでの
大会映像は
こちら



YouTube

PA（音響）エンジニア：ライブに欠かせない音響の専門家

音量や音質を調整し、観客に届けます

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は PA（音響）エンジニアの仕事について、専門学校 ESP エンタテインメント東京の澤田先生に伺いました。

— PA（音響）エンジニアの仕事について教えてください

澤田：とてもざっくりと言うと、ライブやイベントの際に出演者の出す音をマイクなどで拾い、お客さんにとって、ちょうど良い音量や音質に整えて、会場に流す仕事です。ライブの際、客席の後ろの方で大きなミキサーを操作しているスタッフを見たことがあるかもしれませんが、この人が PA さんです。軽音楽部で担当している人もいるかもしれませんが。

ちなみに、PA とは「Public Address（音響設備）」のことを指します。同じように、音を扱うスタッフとして「レコーディング・エンジニア」という仕事がありますが、レコーディング・エンジニアさんはアーティストの演奏している音を録音し、音を整えて、製品にする仕事です。一方の PA はアーティストが演奏している音をリアルタイムで調整し、お客さんに届ける仕事になります。

街のコンサートホール専属の PA さんのように、1 つの現場で仕事をする人もいますが、ほとんどの PA 会社に就職すると、いろいろな会場を回って、その場に合った音色を作ることになります。中には、日本中を移動しながら仕事をしている方もいます。

— 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

澤田：基本的に、専門知識は入学してから身に付けられれば OK です。大昔は、PA エンジニアになるには高校を卒業した後、音響会社に就

職し、最初の 1～2 年を使って仕事を覚えつつ働く…というスタイルで人材育成をしていたのですが、本校をはじめとした音楽専門学校ができてからは最初の 2 年間を学校でスキルを覚える期間にして、その後、PA 会社に就職する…というようなルートに固まっています。

中には、高校時代に PA を経験した方も入学してきますが、経験／未経験を問わず、マイクの種類やケーブルの巻き方から実践を通じて覚えてもらうので、PA について取り組んでおいて欲しいことは特にありません。高校時代には専門知識を身に付けるのではなく、音楽やエンタメを広く見聞きしておいて欲しいと感じています。

また、一般的な PA エンジニアは毎回、別の会場で行いますが、演目やジャンルも毎回異なります。「今日は都内でヘヴィメタルの仕事、来週は大阪でアイドルのコンサート…」みたいな感じです。ジャンルが異なれば、音の作り方も変わってきます。ヘヴィメタルの音作りでアイドルのコンサートの音響を手がけてしまうと、バックの演奏の音が大きすぎて、せっかくのアイドルの歌声が聞こえにくくなってしまいますよね。いろいろなジャンルの音源を聴いたり、ライブを見たりしておく、何となくジャンルごとの傾向が見えてくると思います。ぜひ音楽やエンタメを広く、楽しみながら、いろいろと見聞きしてみてください。

— この仕事の楽しいところを教えてください

澤田：ライブ本番の盛り上がりは何にも代えがたいと思います。ライブの主役は、もちろんアー

ティストですが、アーティストの音を最高のものにして、お客さんに届ける PA の仕事は責任重大です。自分がオペレーターをしたライブで、お客さんが盛り上がっている姿や感動している様子を見るのがやりがいだと思います。

— この仕事の大変なところを教えてください

澤田：「音響」という言葉のイメージとかけ離れるかもしれませんが、とにかく体力勝負の仕事です。ある日は朝から夕方まで、ある日は昼から深夜までなど、働く時間帯が不規則になりがちです。フェスなどの大規模なライブになってくると 1 週間単位で泊まり込み、夜も準備や片付けで稼働することになり、かなりタフな現場になります。

— この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

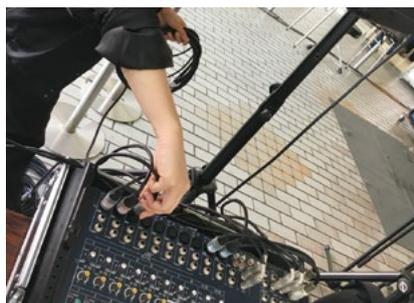
澤田：いろいろとありますが、一番は「人と話すこと」が大切です。PA エンジニアをはじめとするライブスタッフは、いろいろな職種のいろいろな会社のいろいろな人と緻密に話し合いながら仕事を進めていきます。現場が変われば、一緒に仕事をする人も毎回変わっていきます。もちろん本番も大切なのですが、本番に至るまでの準備や話し合い、打ち合わせが成功のカギを握る仕事です。自分が仕事をやる上で必要なことを相手にきちんと伝えること、相手が伝えてくることをきちんと理解すること、わからないことをわからないままにしないこと。他の仕事にも共通と思いますが、これが一番大切だと思います。

また、PA の機材は日夜進歩をしています。ある日、現場に行ったら、使い方がわからないミキサーだった…！ということがないように、自分の商売道具である機材については日頃からリサーチしておくのが大切です。

最後は、繰り返しになりますが、音楽やエンタメを好きでいることです。この仕事をやる上でのモチベーションになることが多く、仕事にも直結してくるので、就職してからもいろいろな音楽を聴いてください。



▲専門学校での実習を通して、機材の扱い方を学びます



▲ケーブルをミキサーに接続し、本番の仕込みを行います



やりたいこと
が見つかる!

音楽・芸能・楽器の専門学校

TOKYO



Entertainment

音楽アーティスト科

- ヴォーカルコース
- ダンスヴォーカルコース
- シンガーソングライターコース
- ギターヴォーカルコース
- サウンドクリエイターコース
- ギターコース
- ベースコース
- ドラムコース

声優芸能科

- 声優養成コース
 - ▶演技専攻
 - ▶アーティスト専攻
- 俳優養成コース

音楽芸能スタッフ科

- アーティストスタッフコース
 - ▶マネージャー/レコード会社専攻
 - ▶ファンクラブ/デザイン専攻
- レコーディングコース
- PA&レコーディングコース
- PAコース
- 照明コース
- ライブハウスコース
- ローディーコース
- 舞台製作コース
- 企画制作コース
- 音楽スタッフ総合コース
 - ▶プロダクション専攻
 - ▶サウンドエンジニア専攻
 - ▶照明/映像専攻

ピアノ調律科

- ピアノ調律コース
- ピアノ/管楽器コース

管楽器リペア科

- 管楽器リペアコース
- 管楽器/打楽器コース

ギタークラフト科

- ギター製作コース[2年制]
- ギター製作総合コース[3年制]
 - ▶ギター製作専攻
 - ▶ギターリペア専攻
 - ▶アンプ・エフェクター専攻
 - ▶ギターデザイン専攻
- 楽器技術研究科



OPEN CAMPUS

体験授業・学科共通説明会・コース別オンライン個別相談会

7月3日(日)

8月6日(土)

8月28日(日)

7月30日(土)

8月7日(日)

9月11日(日)

7月31日(日)

8月21日(日)

9月25日(日)

お申込み・体験授業の
詳細はコチラ



「平日学校見学会」・
「オンライン学校説明会」等も
開催中!

学校法人イーエスピー学園

専門学校 **ESPエンタテインメント東京**

入学事務局(本館)
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-19
TEL:03-3368-6840/FAX:03-3368-6815

0120-37-6986
<https://www.esp.ac.jp/tokyo/>



MA：様々な映像作品に音楽や音を挿入する仕事

映像作品を音楽や音で引き立てます

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は MA の仕事について、日本工学院専門学校ミュージックカレッジ 音響芸術科 MA 専攻の蓼輪先生に伺いました。

— MA の仕事について教えてください

蓼輪：MA (Multi Audio) とは、放送作品や映像作品にナレーションやセリフをはじめ、効果音や音楽を挿入したり、編集をする作業全般（仕事）のことを指します。テレビ番組を例に挙げると、映像に効果音を付けたり、BGM を入れたりするほか、「整音」といって、出演者の声が聞き取りやすくなるように音質をクリアに整え、ミックスをするのも MA の仕事の 1 つです。

MA の仕事は実に多岐に渡るのですが、テレビ番組や映像作品の「音」に関係するものは、いずれも MA エンジニアの手によるものです。ちなみに、「テレビ CM」は少しだけ異色で、MA エンジニアも撮影や収録に立ち会う場合が多く、他の MA の仕事にはない特徴と言えます。

MA 専攻の在校生に話を聞いてみると、アニメや映画を見るのが好きで、この業界に興味を持ったケースが多いようです。また、アニメや映画の仕事をいろいろと調べる中で、声優や俳優などの表舞台に立つような仕事ではなく、制作の現場や音響効果（効果音を付ける作業）を手がける MA のことを知り、この業界を志望する学生が増えている傾向にあります。なお、本校の MA 専攻は女子に人気で、全体の 7 割くらいを女子学生が占めています。

— 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？
高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

蓼輪：入学前から専門的な知識を身に付けておく必要はないのですが、ザックリとで構わないので、「MA の業界には、どんな仕事があるのかな？」というのを知っておいてもらえると嬉しいです。「こんな仕事や作業が MA の世界にはあるんだ…」くらいで良いと思います。

それから、映像作品をたくさん見て欲しいですね。MA の仕事というのはサッとイメージが湧いたり、インスピレーションが大切になります。「MA エンジニア」といっても、いろいろと想像ができないと音を組み立てることができなったり、判断に迷ってしまう場合があるので、自分のアイデアの引き出しを増やすためにも、いろいろな映像を見て、刺激を受けて欲しいと思います。最近はアニメが好きな学生が多いのですが、アニメだけでなく、映画も洋画／邦画を問わずに視聴したり、ニュース番組にも目を向けて見ると良い勉強になります。「ただ単に映像作品を楽しむのではなく、ナレーションや効果音、BGM にも耳を傾けて欲しいな…」というのが私の希望するところです。

— この仕事の大変なところを教えてください

蓼輪：割と座りっぱなしの仕事になるので、そこが大変で忍耐力が必要となります。休憩を挟みながらですが、通算で 12 時間やそれ以上、座りっぱなしの時もあります。ジッと座って、パソコンに向き合う仕事であるということと、集中力も必要となります。長時間、パソコンに向かって作業をしなくてはならないので、そういった作業への集中力と、忍耐力が必要な部分が大変なところだと言えます。

— この仕事の楽しいところを教えてください

蓼輪：様々な音楽や音声を編集するのが MA の主な仕事ですが、映像と音のつながりがスムーズで、違和感なく視聴することができた時や音声の差し替えがうまくいった時にやりがいを感じます。例えば、制作の現場で「このワードは使ってはいけないから、違うテイクから別のワードを拾ってきて、音声を差し替えよう！」というケースがあるのですが、それがピッタリとハマった時や「あの編集のおかげで、映像が引き立ったよ」「あの効果音が

入ったから、より映像に目が行くようになりました」などと言ってもらえると嬉しいですし、MA の仕事を楽しいと感じる瞬間の 1 つです。

— この仕事の大変なところを教えてください

蓼輪：割と座りっぱなしの仕事になるので、そこが大変で忍耐力が必要となります。休憩を挟みながらですが、通算で 12 時間やそれ以上、座りっぱなしの時もあります。ジッと座って、パソコンに向き合う仕事であるということと、集中力も必要となります。長時間、パソコンに向かって作業をしなくてはならないので、そういった作業への集中力と、忍耐力が必要な部分が大変なところだと言えます。

— この仕事は、どんな人にオススメですか？

蓼輪：集中力を要する仕事なので、黙々と作業に取り組みたり、そういった仕事を継続できる人が向いていると思います。先ほどの大変な部分にも通じるのですが、そういったところも楽しんでしまえるような、少し辛いと感じることも自分の中で「楽しい！」という風に変換できる人にオススメです。

— この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

蓼輪：1 つ目は「仕事の楽しさを見つけられること」だと思います。ほんの少しでも良いので、作業をする中で「MA の仕事って、こんなところが楽しいな！面白いな！」というのを見つけて欲しいですね。

2 つ目は「深刻に悩み過ぎないこと」です。「結局、グジグジと悩んでいたのが無駄なことだったんだな…」ということが往々にしてあるので、少しあっけらかんとしているくらいがちょうど良いと思います。

3 つ目は「仕事とプライベートのメリハリをつけること」です。気分をリフレッシュして、クリアな頭で仕事に従事するためにも「仕事をする時は集中して取り組む！」「遊ぶ時は遊ぶ！」というのが、仕事を長く続けるためにも大切な秘訣ではないでしょうか。



▲レコーディングミキサー基礎実習



▲レコーディングマイクの指向性実習

RECORDING
ENGINEER

DANCER

ONE WITH MUSIC!

プロもうらやむ充実した施設・設備。業界屈指のスキルを有した講師陣。

強力な業界デビュー&就職サポートで将来も安心。

あらゆる音楽好きにマッチした環境の日本工学院で、

あなたの想いを音楽に乗せて奏でよう!

VOCALIST

MUSICIAN

CONCERT
STAFF

MUSIC COLLEGE
CONCERT EVENT DEPT.
CREW

日本工学院

×

avex entertainment

Startline
84.1MHz
startline84.com

FMヨコハマ
「Startline」
毎週土曜日20:30~O.A.
(パーソナリティ)
坂詰美紗子(本校卒業生)
中村豪(やるせなす)

オープンキャンパス+体験入学

随時開催

詳しくはホームページへ

ミュージックアーティスト科 職業実践専門課程

浦田キャンパス / 八王子キャンパス
プレイヤーコース / ヴォーカリストコース / サウンドクリエイターコース

コンサート・イベント科 職業実践専門課程

浦田キャンパス / 八王子キャンパス
コンサート制作コース / コンサートPAコース / コンサート照明コース /
コンサート舞台コース / イベント企画コース

音響芸術科 職業実践専門課程

浦田キャンパス / 八王子キャンパス
レコーディングエンジニア専攻 / MAエンジニア専攻 / ラジオスタッフ専攻

ダンスパフォーマンス科 職業実践専門課程

浦田キャンパス
プロダンサー専攻 / バックダンサー専攻 / ダンス&ヴォーカル専攻 /
コレオグラファー(振付)専攻 / ダンスインストラクター専攻 /
テーマパークダンサー専攻

日本工学院 ミュージックカレッジ

日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

<https://www.neec.ac.jp/>

LINE @nihonkougakuin | Twitter @neec_official | Instagram nihonkogakuin

総合選抜型
(AO入学)
エントリー
受付中!



サウンドクリエイター：作品に付随した音楽全般を作る仕事

仕事は周りの人との対話が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はサウンドクリエイターの仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツの榎木（ちしゃき）先生に伺いました。

ー サウンドクリエイターの仕事について教えてください

榎木：「音楽を作る仕事」というのは次の2つに分類することができます。1つは作曲をメインとする「コンポーザー」という職種で、自身の楽曲を制作したり、第三者に提供するなど、純粹に曲を作る仕事のことを言います。もう1つはゲームやアニメをはじめ、映画やCMなど、ある作品に付随した音楽全般を作る仕事で、そこに従事する人たちのことを「サウンドクリエイター」と総称しています。ここ数年、サウンドクリエイターを志望する学生が増えているのですが、人気の背景にあるのは、SNSをはじめとするツールでの「動画投稿」にあると思います。例えば、米津玄師さんが好例だと思うのですが、「良い歌だな…」というところから始まり、「この人はどういう仕事をしているんだろう？」とか「普段は何をやっているんだろう？」という風に調べてみると、自身で歌って、作曲をして、編曲をして、動画を編集して…と、すべてをこなしているんですね。そういった部分からも、サウンドクリエイターという職種が身近に感じられているのではないかと思います。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

榎木：専門学校は何も知らない状態で入学しても、しっかりと授業を通じて指導し、卒業

させる…というのが1つの目的ですので、特に必須の知識やスキルというはありません。ただ、「あれば良いな…」というスキルはあって、例えば、パソコンで作曲をするので、パソコンの操作に慣れていないと、最初の段階で戸惑ってしまうかもしれません。音楽ソフトでなくても良いので、「パソコンの基本的な操作に慣れておく」というのは、やっておいた方が良いでしょう。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

榎木：音楽が好きで、作曲に興味があって…ということで就く職業ですので、まず仕事そのものが楽しいと思います（笑）。やりがいの部分で言いますと、いろいろな人たちに自身の音楽を聴いてもらうことになるので、そこも楽しいと感じる点ではないでしょうか。

ー この仕事の大変なところを教えてください

榎木：作品に携わるという立場上、「締め切り」のある仕事なので、どうしても時間に追われてしまうという部分では、大変に感じることもあると思います。また、一から作品を生み出さなくてはいけないので、どうしても煮詰まったり、アイデアが思い付かないという時にも大変な思いをすることがあります。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

榎木：ネットサーフィンが得意な人にオススメです。例えば、何か気になることがあったら

調べ物をしたり、物事を掘り下げていける人というのが、作曲の仕事に向いていると思います。というのも、曲が出来上がったら、「はい、おしまい」ではなくて、そこから何回も「こうしたら良いんじゃないか？」とか「こっちの方がもっと素敵かも…」という風に見直しをしたり、改善を繰り返していくことになります。「はい、曲が完成した！さあ、次だ！」というのではなく、どんどん掘り下げていける人の方が性格的にも合っていると思います。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

榎木：1つ目は「コミュニケーション能力」です。意外と作曲やモノを作る仕事というのは自分一人で作るイメージがあるかもしれないのですが、実はたくさんの人たちとコミュニケーションを取りながら進めていくことになるので、周りの人と対話をしながら仕事にあたるのが大切です。

2つ目は言い方が難しいのですが、「頑固さ」のようなものが必要になります。繰り返しになりますが、いろいろな人たちと関わることになるので、当然、様々な意見を聞くことになります。音楽は人によって捉え方や好みが変わるものなので、その際に自分自身の中に「芯」がないと、「自分はどのような作品を作りたいのか？」ということを見失いがちになるので、そういう意味での、頑固さが必要だと思います。

3つ目は「持続する力」です。ここ数年、サウンドクリエイターの人気が高まっているほか、定年というのがなく、ずっと続けていくことができる仕事なので、人数も増えています。そういった中で、簡単に辞めることはできますが、ある1つのことがうまくいかなかったからといって、そこですぐに諦めるのではなく、どんどん努力を重ね、ずっと続けていくことが大切なので、持続力も必要な要素の1つだと思います。



▲ゲームやアニメなどに付随した音楽を作る仕事です



▲パソコンやキーボードを駆使して楽曲を制作します

General Music Department

- Vocal Course
- Guitar Course
- Bass Course
- Drums Course
- Sound Creator Course
- Public Address Course
- Stage Lighting Course
- Recording Course

Become a professional!

オープンキャンパス開催中!

7/10 (SUN), 17 (SUN), 24 (SUN), 30 (SAT), 31 (SUN)



経験不同 参加無料 要予約

ミュージシャンではボーカルやプレイヤーのパート別レッスン、課題曲でのバンドレッスン、スタッフではライブホールでPA・照明体験、スタジオでサウンドクリエイターのお仕事を体験しよう!

現役で活躍するプロの先生や在校生が丁寧に指導するので、ぜひお気軽にご参加ください!



ご予約はこちら!

音楽総合学科

第一線で活躍するプロが直接指導! 実践的カリキュラムで憧れの業界へ!

授業は実習をメインに、業界の第一線で活躍するプロが少人数体制で直接指導。徹底的に現場を意識した設備・環境の中で学びながら、2年間で現場の即戦力となる人材へと導きます!



Public Address



Vocal / Guitar / Bass / Drums



Sound Creator



Stage Lighting



Recording

TOKYO VISUAL ARTS

Adachi学園グループ

学校法人 **東京ビジュアルアーツ** 専門学校

〒102-0081 東京都千代田区四番町11 www.tva.ac.jp

お問い合わせ

東京ビジュアルアーツ 入学相談室

0120-64-6006

Email: info@tva.ac.jp



設置学科: 音楽総合学科 / 映像学科 / マスコミ出版・芸能学科 / 写真学科 / 特殊メイク学科 / パフォーミングアーツ学科 / ダンス学科

ボーカリストにまつわる仕事

「好き」を追求する姿勢が大切です

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はボーカリストにまつわる仕事について、専門学校名古屋ビジュアルアーツのミュージシャン学科／ボカールコースの村屋先生に伺いました。

ー ボーカリストの仕事について教えてください

村屋：一般的に知られている部分では、ボーカリストとしてメジャーデビューをする、というのが大きいと思いますが、形態という観点では、ソロの弾き語りやバンドのセンターボカールとして、また、最近では「歌ってみた」に代表されるようにYouTubeやTikTokから発信し、収入を得ている方もたくさんいます。これらが表方の仕事だとすると、裏方は、例えば、カラオケで人気の楽曲に「歌入り（ガイドボカール）」の仕事をしているボーカリストはたくさんいますし、アーティストのバックコーラスとしてレコーディングに参加したり、コンサートやテレビに出演する方もいます。それから、我々のような音楽専門学校でボカール講師として学生に授業を行ったり、ボイススクールでの講師業（ボカールトレーナー）も歌を扱う仕事の1つです。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか？高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

村屋：まったくのゼロから始める学生も多いので、知識やスキルなどを心配する必要はありません。ただ、高校生のうちからやっていた方が良いことは、やはり「腹式呼吸」ですね。運動部で言う筋トレのようなもので、ボールを打つ筋肉なのか、投げる筋肉なのか、速く走る筋肉なのか、という感じで「いかに呼吸や腹筋をコントロールできるか？」とい

う部分が、歌う際の声量や声の伸びに関係します。ですので、腹式呼吸は高校生のうちに会得しておく方が良いと言えます。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

村屋：僕はギターから始めたのですが、ボーカリストとして活動するようになって感じたのは、「歌」はダイナミックでありながら、自由度が高いということです。ボカールは言葉とメロディーと体全体で表現することができる部分なので、それで拍手をいだけたり、賞賛を浴びたり、SNSで「いいね！」が貰えるというのは、自分を褒めてもらっていることにつながるんですよね。「歌を聴いた人たちに認められている」「自分の居場所がある」というのが1つの自信になり、やりがいにつながると思います。

ー この仕事の大変なところを教えてください

村屋：自分の体が最強の武器であり、唯一のツールでもあるので、どうしても歌声を否定されてしまうと、自分の人格も否定されているような気持ちになるところでしょうか。ボカールの場合は裸一貫で勝負をしているようなものなので、徐々に慣れてくるのですが、「ちょっと音程がね」とか「高音が届いていないよね」と言われてしまうと、とても凹んでしまうことがあります。僕も学生を指導する際は、そういった部分の伝え方に注意しているのですが、それらを上回るくらいに楽しい

ことの方が多く、自分が作ったものを表現して、周りの人たちから賞賛を受けるというのは、この上ない喜びと幸せを感じる瞬間です。

ー この仕事は、どんな人にオススメですか？

村屋：感受性が豊かで、何事にも興味のある人が向いていると思います。ボーカリストというのは、わがままだし、寂しがり屋だし、周りの目や世の中の流れに敏感なんですよ。でも、そういう人種だからこそ、あまり人が気づかない部分を見つけることができたり、相手の気持ちを汲み取ることに長けていると思います。「嬉しい」とか「悲しい」という感情には何段階ものフェーズがあるように、そういった感受性の豊かな人は表現の度合い（バリエーション）も豊富なので、この職種に向いているのではないのでしょうか。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか？

村屋：ボーカリストは歌唱法やステージでの表現方法をどんどん進化させていけるので、世の中の流行や音楽シーンに敏感であることが大切です。

2つ目は、どんなことにも言えるのですが、「好きなこと」をトコトン追い求めていける力です。これが簡単なようで難しく、ずっと続けていくためには、やっていることを好きにならないといけません。

3つ目はアスリートと一緒に、体が「資本」なので、トレーニングも然り、よくプロのアスリートが言うように、努力を努力と思わずに継続できる姿勢が大切です。例えば、レコーディングの直前に喉がかすれてしまっていたら、それでは仕事になりません。ギターやベースであれば、弦のサビは交換すれば良いのですが、ボーカリストは日々の体調管理も含め、「仕事だから」という風に、普段からストイックに「自分の体を守るぞ！」という強い精神力が大切だと思います。



▲バンドでのアンサンブルについて学びます



▲ボカールの村屋先生から直接アドバイス

大好きな音楽で プロになる。

夢に近づく
音楽分野 2 学科と
12 のコース

ミュージシャン学科

ボーカルコース / ダンスボーカルコース
ギターコース / ベースコース / ドラムコース / キーボードコース

音響学科

PAコース / 照明コース / 企画・制作コース
レコーディングエンジニアコース / サウンドクリエイターコース / 映像音響コース

オープンキャンパス開催中!

7 / 3 日 ・ 10 日 ・ 18 祝月 ・ 24 日 (event!) ・ 31 日
レッスン体験 レッスン体験 LIVE体験 レッスン体験 レッスン体験

ご予約はコチラ



8 / 3 水 ・ 7 日 ・ 11 祝木 ・ 21 日 (event!) ・ 26 金 ・ 28 日 (event!)

2023年度入学 AO入学エントリー受付中!

学校法人Adachi学園

NVA 名古屋ビジュアルアーツ
NAGOYA VISUAL ARTS

文部科学省認定専修学校

職業実践専門課程認定校

お問い合わせ

入学相談室

TEL:0120-7575-48

Email:go@n-visual.net



2023年度より
ポピュラー音楽コースは
ポップ&
ロックミュージック
コースに
名称変更します。

Pop & Rock Music, Jazz

昭和音楽大学 | 昭和音楽大学短期大学部

ポップ&ロックミュージックコース
ジャズコース

特設ページOpen! ▶



Event Information 2022

イベントの一部の内容はオンラインでも受講できます!

アンサンブルセミナー 参加無料 対面
 本学教員がアドバイス!! ジャムセッションを楽しもう。
 [個人またはバンド] 6/26 Sun 9/24 Sat 10/22 Sat
 [単位で参加可能]

受験講習会 個人レッスンで 対面 オンライン
 プロの技を身につけよう!
 6/26 Sun 8/27 Sat 9/24 Sat 10/22 Sat 他
 ●実技個人レッスン ●ポピュラー音楽理論 他

夏期講習会 受験生受講率No.1!! 対面 オンライン
 夏休みにレベルアップ
 8/2 Tue ~ 5 Fri ●実技個人レッスン
 ●ポピュラー音楽理論 ●DTM講座 他

オープンキャンパス 参加無料 対面 オンライン
 6/26 Sun 7/10 Sun 8/5 Fri 9/24 Sat 10/30 Sun 他

▶6月現在の情報です。日程や内容は変更となる場合がありますので、詳細や最新情報はウェブサイトをご覧ください。◀

お申込・詳細はウェブで
行こうよ! SHOWA!
 ◎昭和音楽大受験生応援サイト◎

サイトへはこちらから!

お問い合わせ・資料請求/入試広報室

☎ 0120-86-6606

✉ nyushi@tosei-showa-music.ac.jp

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1

📶 **オンライン個別相談、実施中!**

[平日11:00~18:00(1回30分程度)]

本学教員・進学アドバイザーが質問にお答えします。
 ◎希望日の3日前までにお申込ください。

教員紹介

(2022年6月現在)



★タイガー大越客員教授は年に数回、特別レッスンを行う予定です。

全部わかるかな？

軽音ミュージッククイズ

MUSICQuiz ③



第1問

奏法 & テクニック



難易度



ドラムのスティックの握り方で、手の甲を上に向けて構える「ジャーマン・グリップ」と、親指を上に向けて「フレンチ・グリップ」の中間ぐらいで構えるのは何グリップ？

- A：ミドル・グリップ
- B：アメリカン・グリップ



ギターやベースの指板には、フレットの位置がわかりやすいように「ポジション・マーク」が付いています。
12フレットだけ他と違う理由は？

第2問

楽器 & 機材



難易度



第3問

音楽理論

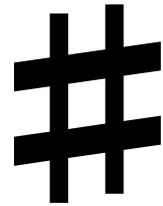


難易度



SNS で使われるハッシュタグとよく似た音楽記号、「# (シャープ)」とはどんな意味でしょう？

- A：鋭く演奏する
- B：半音高く
- C：ここは大事



音響機材をはじめ、多くの電化製品には「アース接続」ができるようになっています。
このアースってどういう意味？

第4問

楽器 & 機材



難易度



全問、答えられたかな？
今わからなくても、答えを知って覚えればいいんだ。
目指せ、軽音楽の「ものしり博士」。

正解と詳しい
解説はこちら…



知っておくべき

軽音楽部の常識

ドラムのウォーミングアップ編

10

ボーカリストが歌う前に発声練習をしたり、ギタリストやベーシストが運指練習やストレッチをするように、ドラマーもドラムを叩く前にストレッチをしておくことで筋肉の緊張がほぐれ、手首や腕全体への負担が軽減されます。また、スティックの正しい持ち方はタイトなドラミングや音抜けの良いショットにつながります。1つずつ工程を見ていきましょう！



軽音協の出版物



マンガでわかる！ロックな楽典 (kindle 版) 好評発売中！

この本は漫画で読む基礎の音楽理論書です。軽音楽部の高校生にもわかりやすく譜面の読み方や基礎の音楽理論を学んでもらおうと、2014年からデジタル楽器&機器ファン、エレキ・ギタリストのための雑誌「DiGiRECO/Electric Guitar」に好評連載されていた記事をNPO 法人全国学校軽音楽部協会が監修／編集して、デジタル書籍として1冊にまとめました。現在の、日本のロックに対応した楽典に、マンガの解説ページを追加した豪華版で登場です。 著者：辻 伸介／作画：榎田道也 1,000円（税込）



LINE スタンプ発売中！

楽器で気持ちを伝える
動く スタンプ ¥250



ロックな楽典

歌田メイ、歌田ダン、半ズボン先生 各¥120



ロックな楽典
：歌田メイ Part 1



ロックな楽典
：歌田ダン Part 1



ロックな楽典
：半ズボン先生 Part 1



ロックな楽典
：歌田メイ Part 2



ロックな楽典
：歌田ダン Part 2



ロックな楽典
：半ズボン先生 Part 2



次号
予告

DiGiRECO.JR

7月20日 (水) 発行



特集

サウンドチェックの基本

DTM初級入門

ロックの解体新書、みんなの軽音楽部、イベントレポート

Fender®

MUSTANG™
MICRO

PLUG IN. CUT LOOSE.



©2022 Fender Musical Instruments Corporation. All rights reserved.

DIGIRECO.JR

平成25年12月18日（水）創刊
令和4年6月20日（月）発行

■DIGIRECO.JR（〒211-0001・千葉県市川市）第11巻6号通巻52号 ■監布：高等学校音楽部 2,038校
■監修・発行：特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校音楽部協会 〒224-0003 神奈川県横浜市都筑区中川中央1-37-6-405

TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900

無印